

新 グランドソー

取扱説明書

UX-55F

UX-70F

UX-70R



グランドソーをご使用になる前に

- 当社製品を安全かつ正しく快適にお使いいただくために、必ず本取扱説明書をお読み下さい。誤った使用方法是事故をひきおこす恐れがあります。
- お読みになったあとも必ず、製品と共に保管して下さい。
- 本製品を貸与または譲渡なさる場合は、この取扱説明書を必ず添付してお渡し下さい。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、すみやかに販売店にご注文下さい。
- なお、本製品は安全対策や、機能向上のため使用部品の一部変更を行う場合があります。このためイラストなどの一部が本製品と一致しないことがありますのであらかじめご了承下さい。
- また、ご不明の点やお気づきのことがございましたら、お買い上げ頂きました販売店、農協などにご相談下さい。



印付きの下記マークは、安全上、お客様にかかわる重要な項目です。
必ず、お守り下さい。



危険

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



警告

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



注意

その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

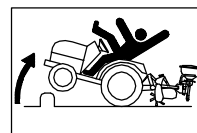


株式
会社

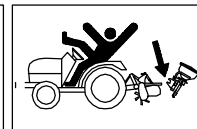
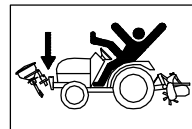
タイショー

■ 安全に作業をするために

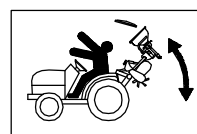
- 警告** グランドソー装着後のトラクターの運転は慎重にする
【守らないと】
特に、畦などの段差を乗り越える際には、トラクタ本体のバランスを損ない、転落事故をおこす恐れがあります。



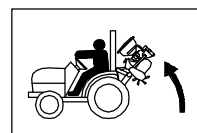
- 警告** グランドソーのヒッチ部分のボルトは確実に締める
ご使用になる時は、毎回必ずボルトのゆるみがないことを確認して下さい。
【守らないと】
ヒッチ部分のボルトがゆるんでいると、グランドソーが脱落し、事故をまねく恐れがあります。



- 警告** ロータリーを急激に上げ下げさせない（Rタイプ）
【守らないと】
ホッパー内に肥料が入った状態で、ロータリーを急に上げ下げすると、ホッパーが破損したり、肥料をかぶる恐れがあります。



- 注意** ロータリーを上げた状態で、グランドソーがトラクターなどに、ぶつからない事を散布作業前に確認する（Rタイプ）
【守らないと】
ホッパーが破損して肥料をかぶる恐れがあります。

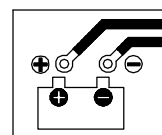


- 注意** 電源コードの取付けは、トラクタのエンジンやマフラーなどの高温になる部分に触れないように又、トラクターの舵取り機構など動くところに巻き込まれないようにする
【守らないと】
ショートして、火傷や火災事故をひき起こす恐れがあります。

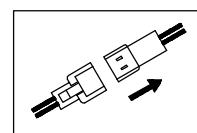
- 注意** グランドソーの取付け、取り外しは平らな所で行う
【守らないと】
事故をおこす恐れがあります。

- 注意** グランドソーを装着したトラクターで一般道路を走行する場合は、法律を順守する
【守らないと】
道路運送車両法に違反します。

- 注意** バッテリーへの接続は正しい手順で行う（接続は＋側を先に接続する）
【守らないと】
ショートして、火傷や火災事故をひき起こす恐れがあります。

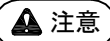


- 注意** 保守・点検・整備の時は必ずコネクターを外す
【守らないと】
機械が急に動き出したりしてケガをする恐れがあります。



- 注意** グランドソーを使用する時は、防塵マスクなどを身に付ける
【守らないと】
肥料を吸引すると健康を損なう恐れがあります。

- 注意** 散布機やスタンドのボルト、ピン類は確実に固定する。
【守らないと】
機械が外れたり落下してケガをする恐れがあります。



注意

機械の改造禁止

グラントソワーを改造して使用しないで下さい。

【守らないと】

事故・ケガ・機械の故障をまねく恐れがあります。

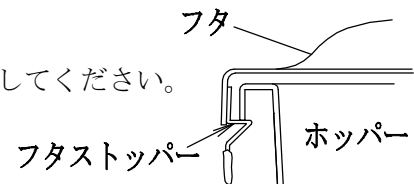
■ 使用上の注意

下記のような肥料は散布できません。ホッパー投入前にご確認下さい

- ・形状の大きい肥料
粒径6ミリ以上の肥料や、長さ10ミリ以上のペレット肥料
- ・湿った肥料
- ・流れの悪い肥料
米ぬかのように滑り落ちづらく、ホースに詰まりやすい肥料
- ・粉状の肥料
石灰及び粉状の肥料

ホッパーのフタは確実に締める

- ・フタストッパーがホッパーのふちに確実にかかっているか確認してください。
(1ホッパーに2箇所)
- ・Rタイプの場合は、ホッパー側面のパチン錠も締めて下さい。
(1ホッパーに2箇所)



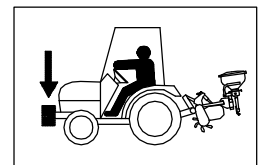
【守らないと】

フタが飛ばされてしまいます。

グラントソワーがトラクターなどと干渉するところがないか確認する

キャビンや後方窓、安全フレーム、ロータリーなど特に注意してください。

トラクターの前後バランスを調整する時はフロントウェイトを装着して下さい（Rタイプ）

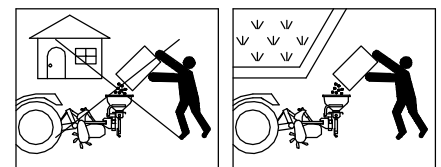


肥料の投入は圃場で行って下さい

肥料を事前に投入して、路上走行などをすると肥料が振動等により押し固められて散布機が故障する原因となります。

ホッパーには肥料以外の物は投入しないで下さい。

また、ホッパーへ肥料を投入する際は、電源スイッチを切って下さい。



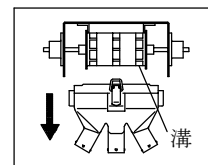
作業終了後はホッパー内の肥料を完全に排出して下さい

ホッパー内に肥料が残っていると、吸湿作用により固着して散布機が故障する原因となります。

雨天時には散布機は使用できません

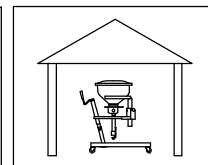
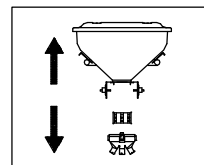
連続して作業を行う場合には、ロールの溝をていねいに掃除してください

ロールの溝が詰まった状態になると誤量散布の原因になります。



長期保管の前には分解掃除をして下さい

保管は屋内など電気系統に水がかからない場所にして下さい。



繰り出し部オープン機構の操作は正しい手順で行って下さい

- ・ 70 F/R で繰り出し部をオープンさせるときは、必ず左右 2 つのロール受けのロックピンを外してから行って下さい。
- ・ メンテナンスの時以外は、必ずロックピンでロール受けを固定してください。（P. 13 参照）

【守らないと】

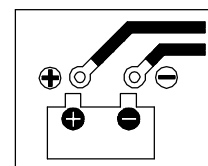
機械が変形し、故障の原因になります。

あぜごえ跳ね上げ機構（55 F、70 F のみの機能）の操作は正しい手順で行って下さい

アームを低い位置で組み付けているときやホースの長さが短いと、ササエと拡散器が持ち上げ難いことがあります。その場合は、ホースを拡散器から外してから跳ね上げ機構を使用して下さい。（P. 14 参照）

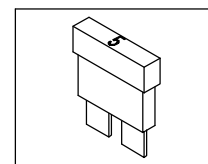
バッテリーへの接続は⊕⊖を間違えないで下さい

逆接続では散布機は動作しません。

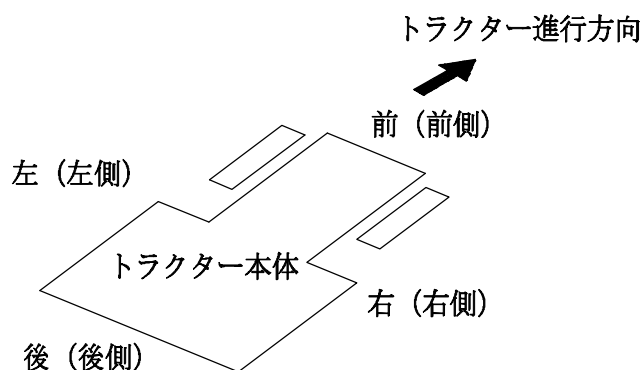


ヒューズは指定の容量を使用して下さい

使用しているヒューズは平型 5 A です。
ヒューズが切れた場合は、過負荷の原因を取り除いてからヒューズを交換して下さい。



取扱い説明書中の前・後・左・右の位置関係は下図を参照ください。



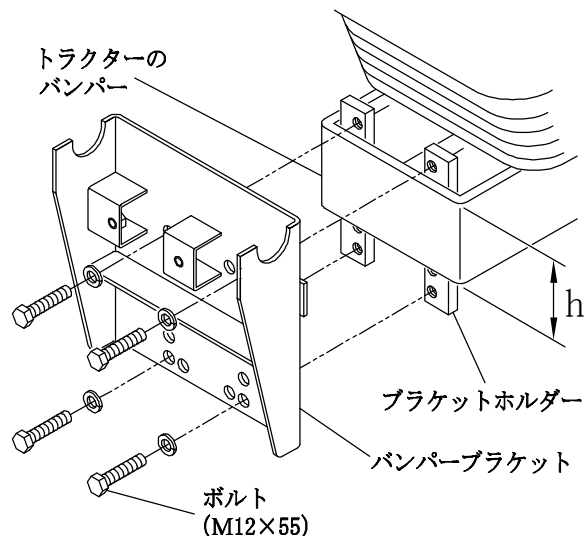
〈組立要領〉

(Fタイプの組立て方)

■ バンパーブラケットの取付け方

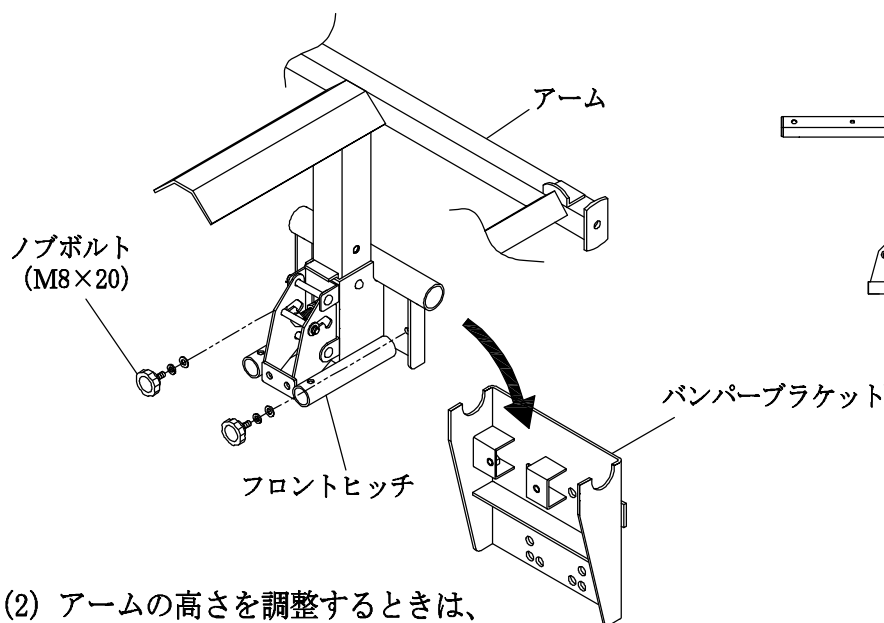
(1) バンパーブラケットとブラケットホルダーでトラクターのバンパーを図の様に挟み込んで締め付けます。

- ・バンパーのh寸法が100mm以下の場合は、間隔の狭い方の穴を使用して下さい。
- ・フロントバンパーがフロントヘッド部より引っ込んでいる場合や弱い場合は、別売りのアダプターを使用して下さい。
- ・化粧バンパーのあるトラクターは化粧バンパーを取り外して下さい。

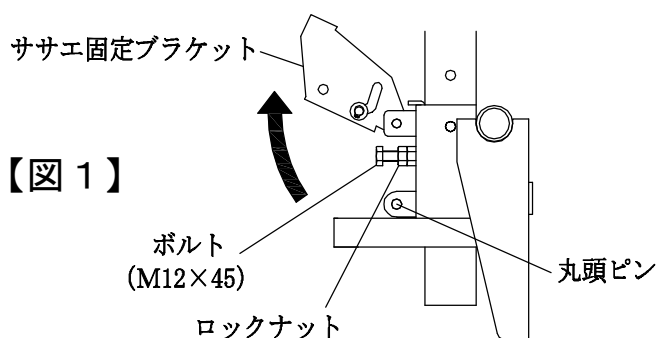


■ 本体のトラクターへの装着

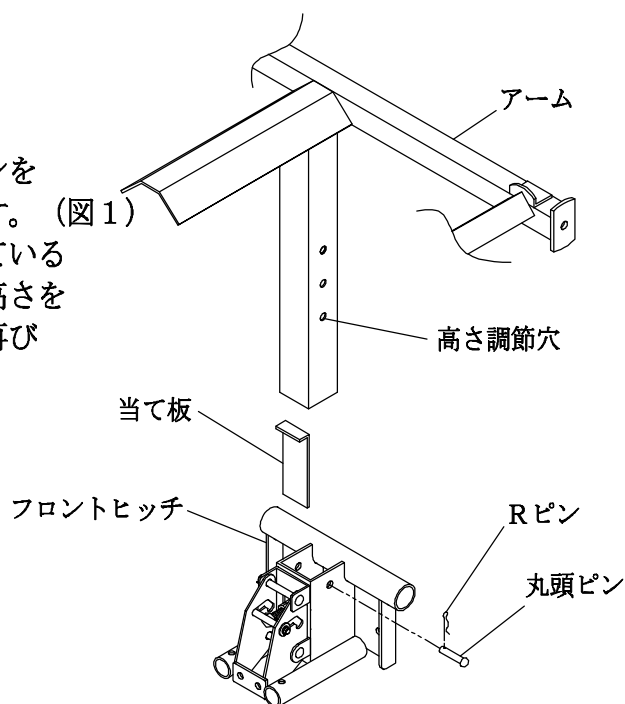
(1) フロントヒッチをバンパーブラケットに載せて、ノブボルトで固定します。



- (2) アームの高さを調整するときは、ササエ固定ブラケットを固定している丸頭ピンとRピンを外し、ササエ固定ブラケットを下図の様に持ち上げます。(図1)
- (3) ボルトとロックナットを緩めてから、アームを固定している丸頭ピンとRピンを外して、散布巾に応じて取り付け高さを調節します。高さが決まったら、丸頭ピンとRピンを再び差し込んで固定して下さい。(図2)

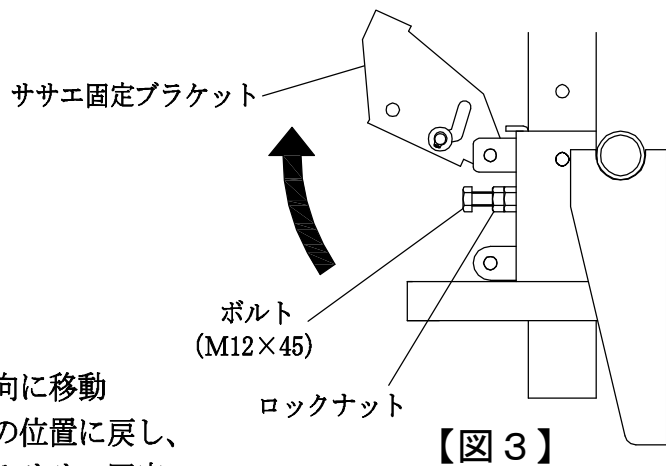


【図1】

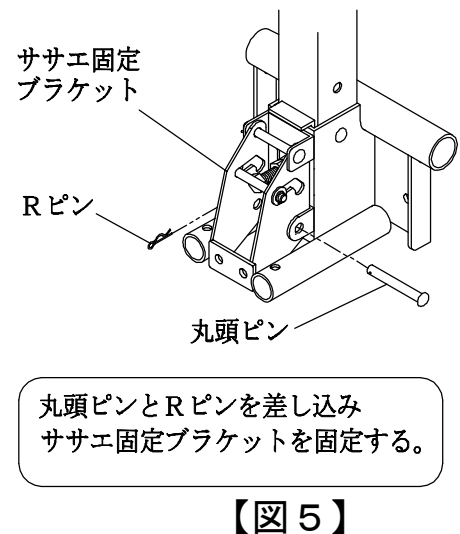
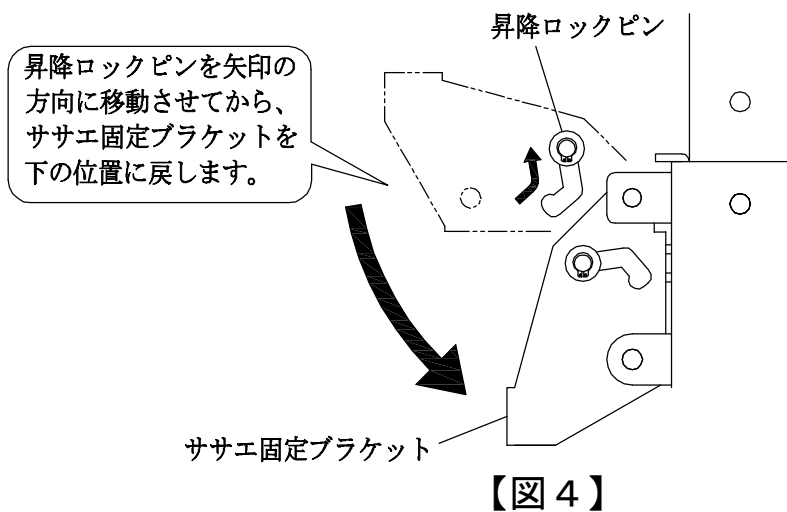


【図2】

- (4) ササエ固定ブラケットを図3の様に持ち上げ、アームがガタつかない様にボルトとロックナットを締め付けて固定して下さい。

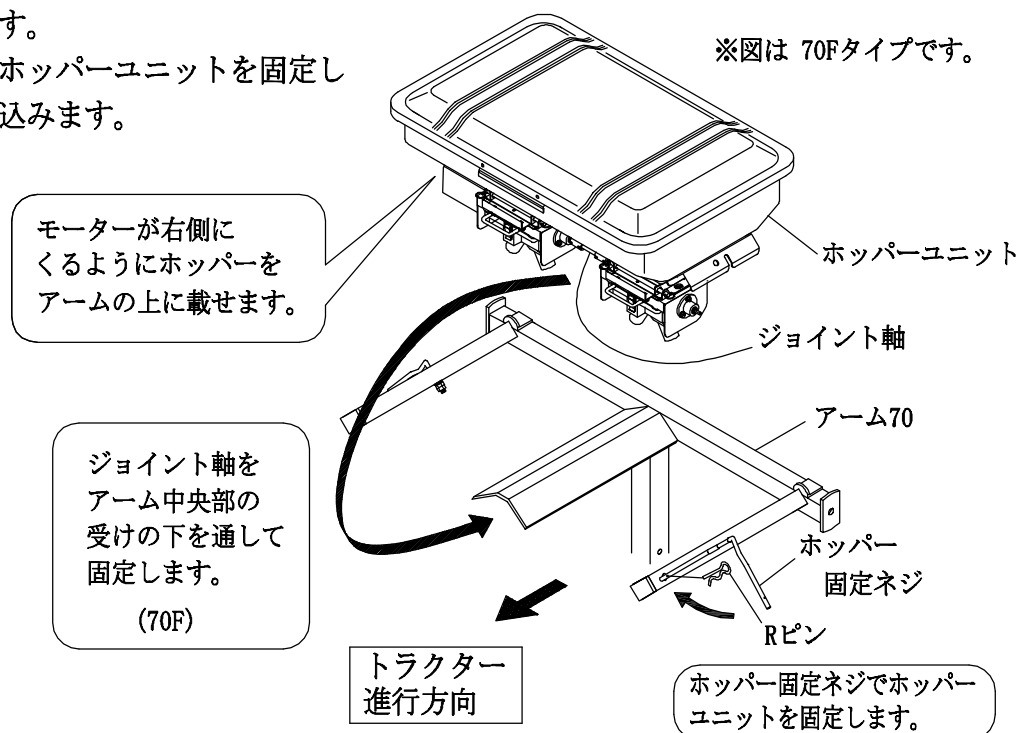


- (5) 昇降ロックピンを図4の様に矢印の方向に移動させてからササエ固定ブラケットを下の位置に戻し、図5の様に丸頭ピンとRピンを差し込みササエ固定ブラケットを固定して下さい。



■ ホッパーユニットの取り付け(55F, 70F)

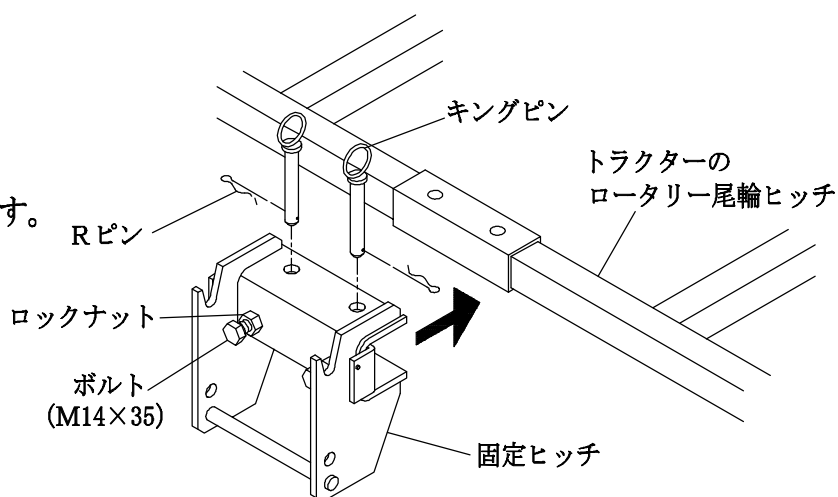
- (1) モーターが右側にくるようにホッパーユニットをアームの上に載せます。
- (2) ホッパー固定ネジでホッパーユニットを固定し最後にRピンを差し込みます。



(Rタイプの組立て方)

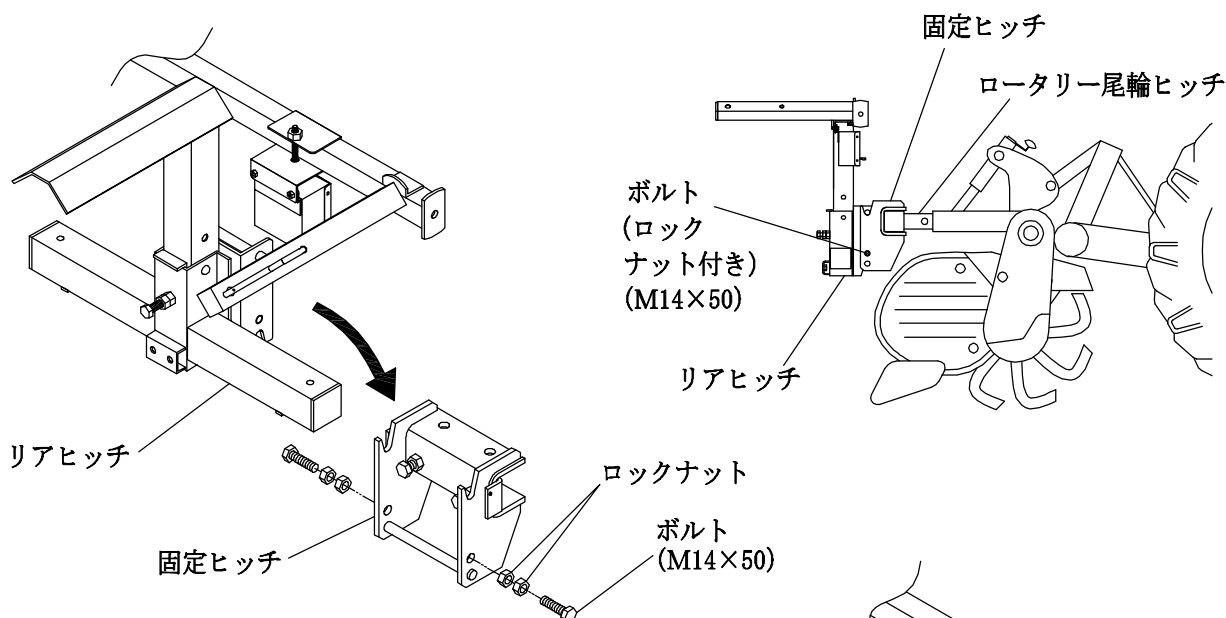
■ 固定ヒッチの組付け

- (1) トラクタのロータリー尾輪ヒッチに固定ヒッチをキングピンで固定します。
- (2) 固定ヒッチの背面のボルトとロックナットを締め付けて、ガタつきを無くします。



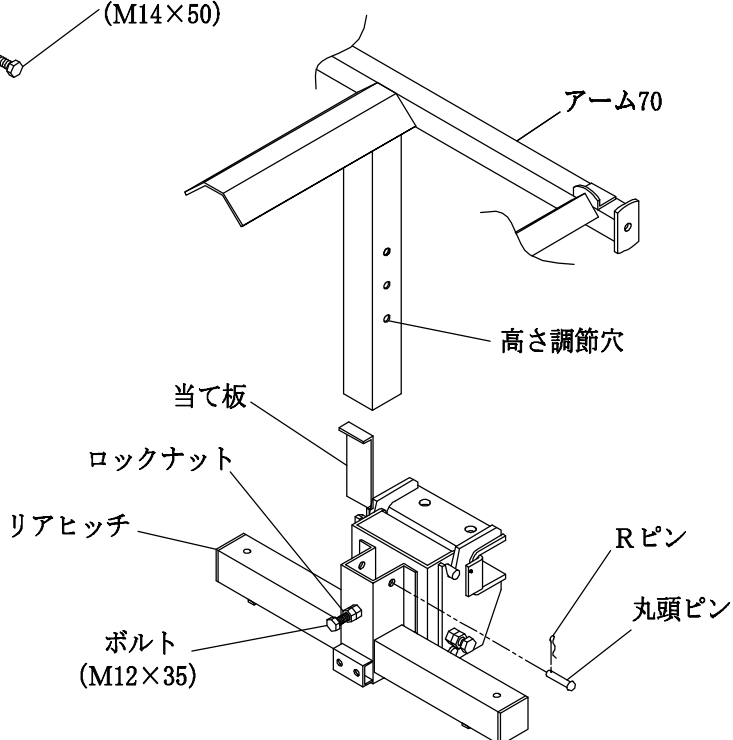
■ 本体のトラクターへの装着

- (1) リアヒッチを固定ヒッチに載せてボルトとロックナットで固定します。



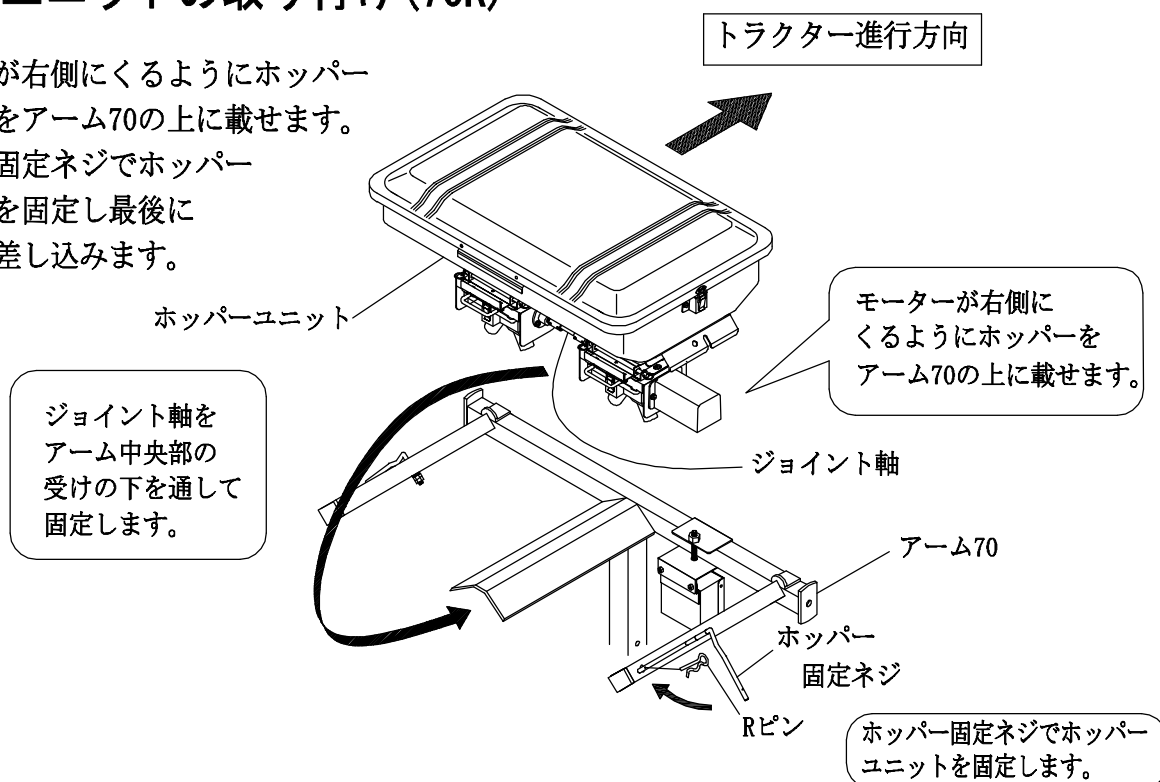
- (2) アーム70の高さを調整するときは、ボルトとロックナットを緩めてから、リアヒッチの丸頭ピンとRピンを外して、散布巾に応じて取り付け高さを調節します。高さが決まったら、丸頭ピンとRピンを再び差し込んで固定して下さい。

- (3) 最後にアーム70がガタつかない様にリアヒッチのボルトとロックナットを締め付けて固定して下さい。



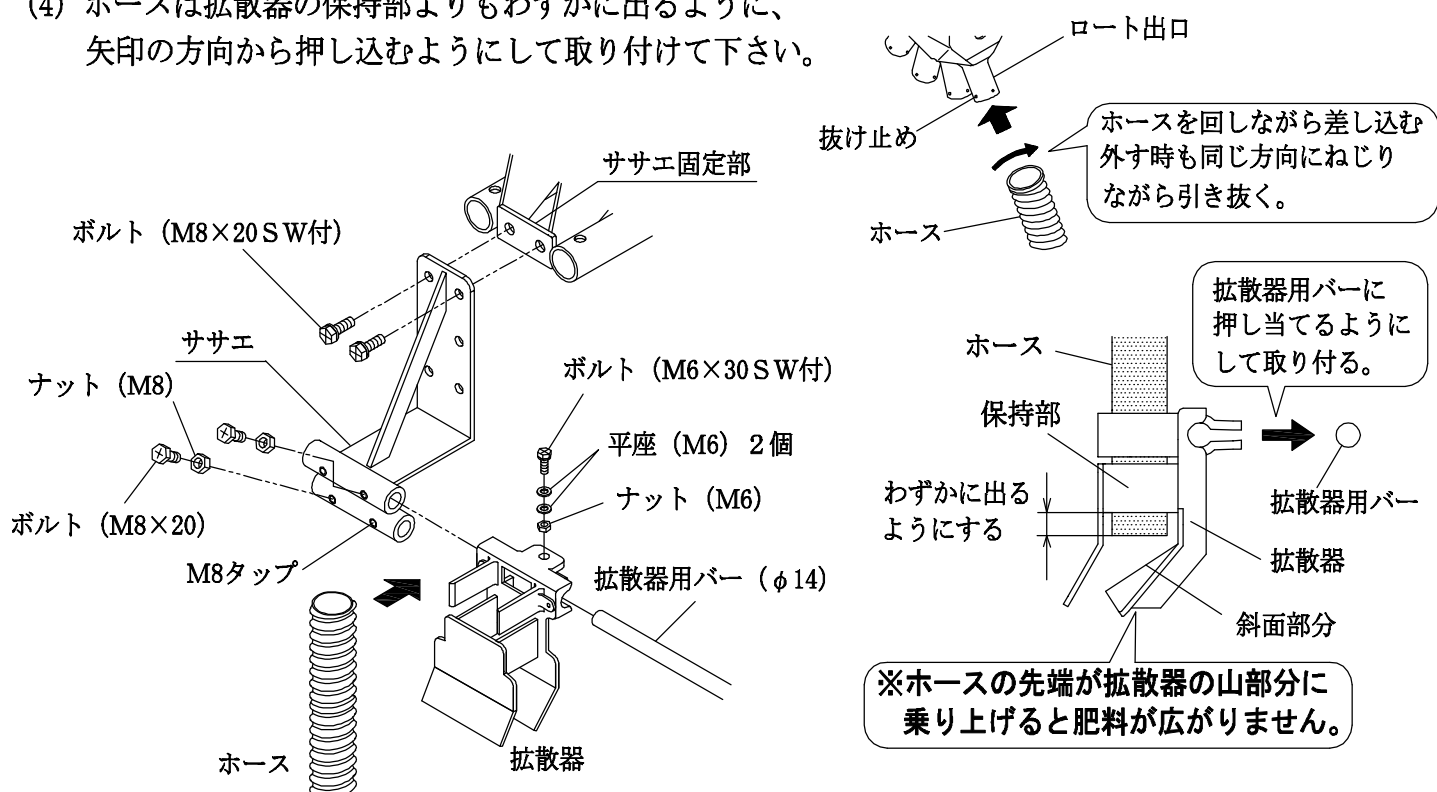
■ ホッパーユニットの取り付け(70R)

- (1) モーターが右側にくるようにホッパーユニットをアーム70の上に載せます。
- (2) ホッパー固定ネジでホッパーユニットを固定し最後にRピンを差し込みます。



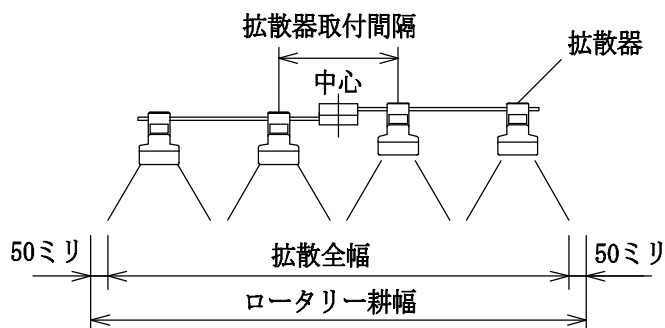
■ ホース、拡散器の取り付け

- (1) ササエをササエ固定部にボルトで固定します。
- (2) 拡散器を拡散器用バーに取り付け、ササエの穴に差込み、ボルトで押し付け、ロックナットを締め付け固定します。(ササエにはM8タップが4ヶ所ありますが使用するのは2ヶ所です。拡散器用バー1本に対して、ボルトとナット1ヶで固定します。)
- (3) ホースの長さをそれぞれの拡散器の位置に合わせて切断します。この時、ホースの傾きが大きくて肥料が流れず滞留しそうな場合は、本体アームの高さを調節してからホースを切断して下さい。(P.8 ホース取り付け上の注意参照)
- (4) ホースは拡散器の保持部よりもわずかに出るように、矢印の方向から押し込むようにして取り付けて下さい。

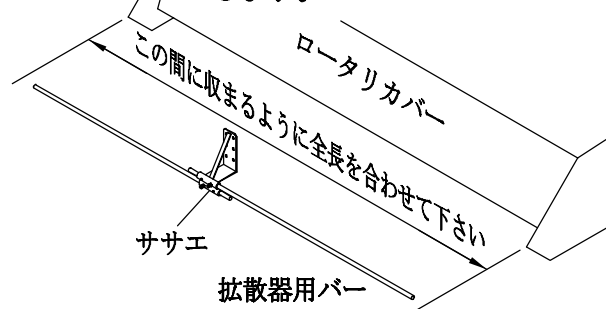


■ 拡散器取り付け上の注意

- ※ 拡散器取り付け間隔は概ね等間隔になるようにします。
- ※ 拡散全幅はロータリー耕幅より100mm引いた幅になります。
- ※ はじめに中心で間隔を決めて下さい。

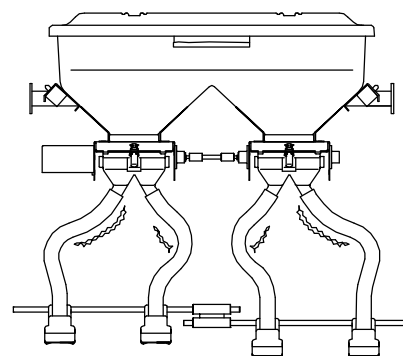


- ※ 拡散器用バーの長さはロータリーカバーに全長が収まるようにします。



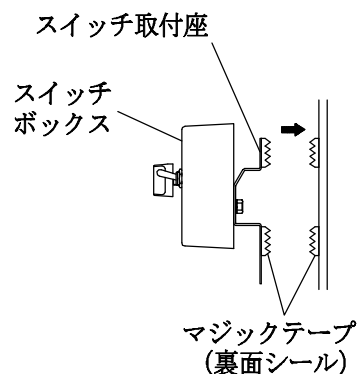
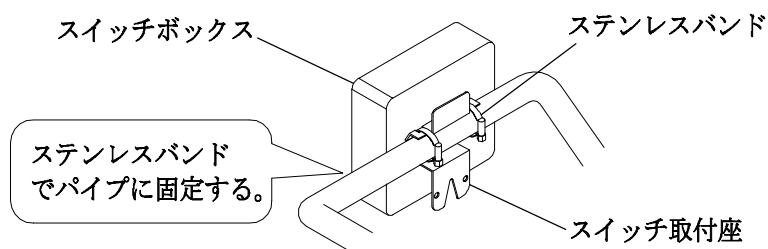
■ ホース取り付け上の注意

- ※ ホースを長いまま使用すると、肥料がホース内部に滞留して、散布作業が正しく行えません。
- ※ ホース長さはアームとヒッチの組み付け穴位置により変わる為、長くなっています。
(ホースはたるみが無いように、長い場合は切断して下さい。)



■ ケーブルの接続

- (1) スイッチボックスを運転席の操作しやすい所に取り付けて下さい。
トラクタのフェンダーの取手などを利用して取り付けると便利です。
また、ボルト、ナット等で取り付けられない場合は、付属のマジックテープを使い、キャビンのガラス等の平らな面に取り付けたり、付属のステンレスバンドを使ってドア内側のパイプに取り付けて下さい。

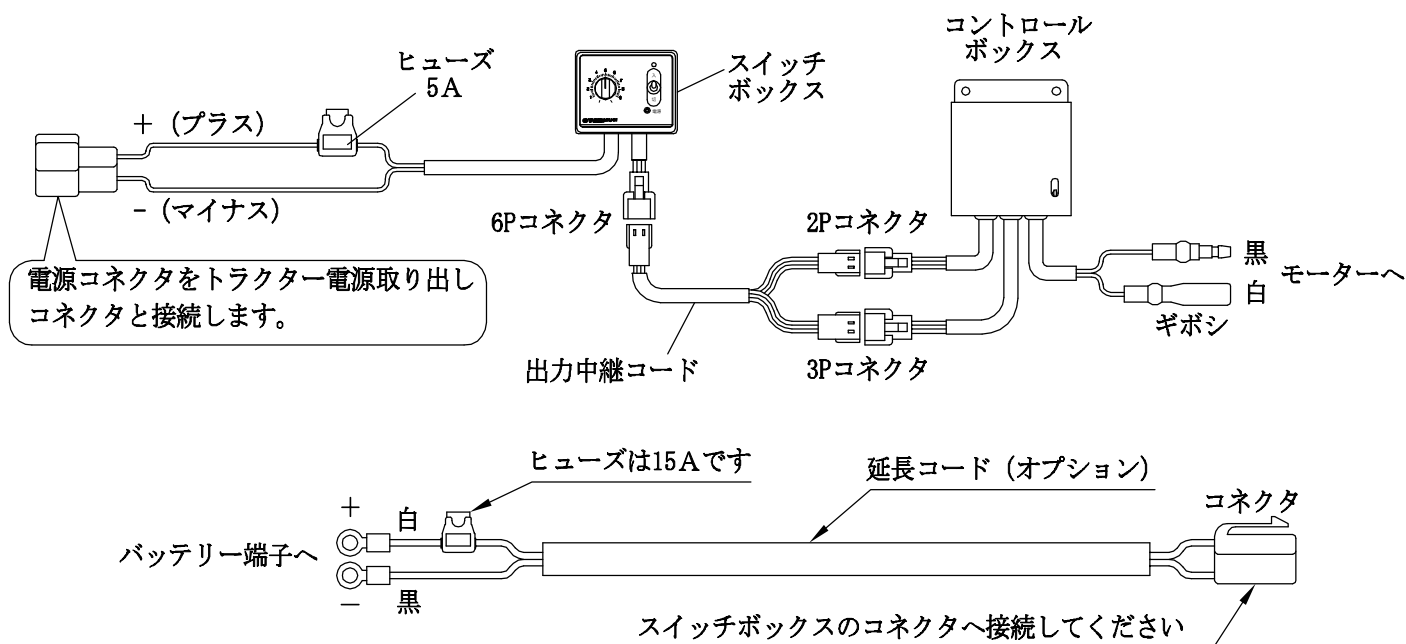


- (2) スイッチボックスの電源コネクタをトラクタの電源取り出しコネクタに接続します。
- (3) スイッチボックス、出力中継コード、コントロールボックスのコネクタを接続します。
- (4) コントロールボックスとモーターのギボシを接続します。

※ケーブルの取り付けにはゆとりを持たせ、トラクタの高温部や舵取り機構などの可動部、板の鋭端部を避けて取り付け下さい。

※トラクタ電源取り出しコネクタが無い場合は、オプションの延長コードを別途買い求めください。

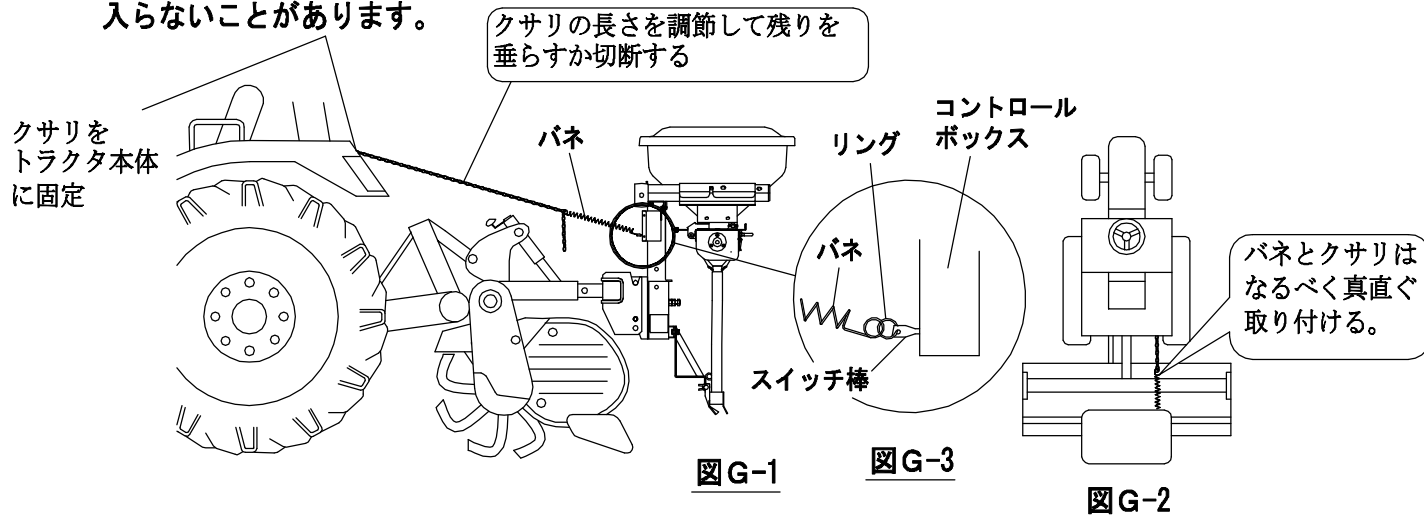
※バッテリーの接続は確実に行って下さい。接続が悪いと動作不良の原因となります。



■ 自動スイッチの接続 (70R)

- (1) コントロールボックスのスイッチ棒とバネをリングで接続します。(図G-3参照)
- (2) クサリの端部をトラクターの本体後部へ固定します。(図G-1、図G-2参照)

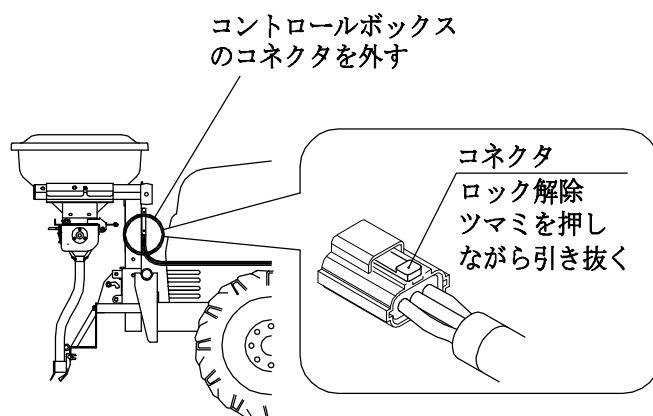
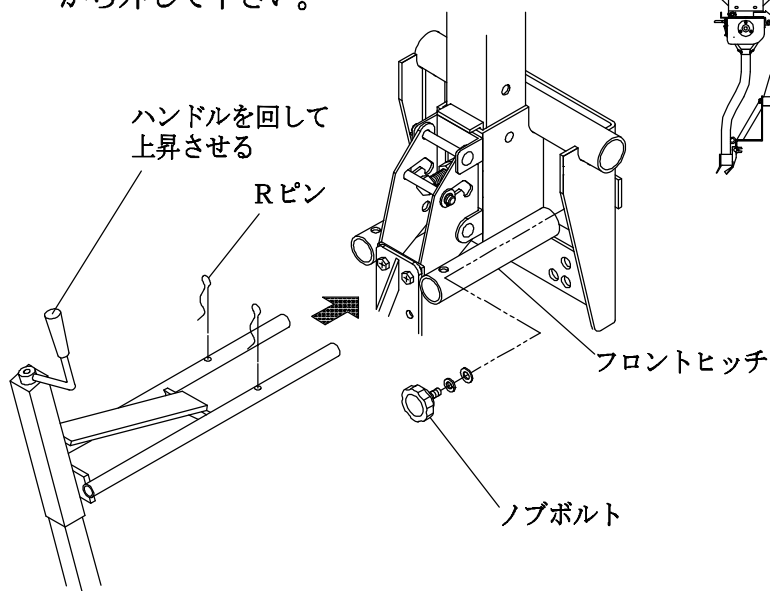
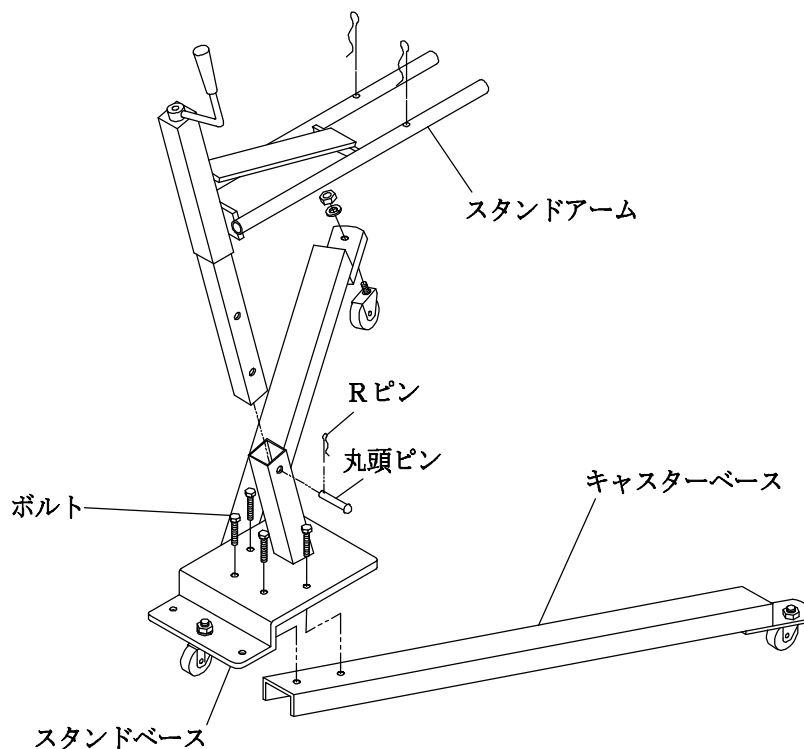
※ ロータリーが地面に着いた状態でスイッチが入り、ロータリーが上昇した状態でスイッチが切れるようにする為、バネの”のび”が30cmくらいになるようにクサリの長さを調節します。バネの”のび”が強すぎると常にスイッチが入った状態になったり、弱すぎるとスイッチが入らないことがあります。



■ スタンドの使用法

(Fタイプ)

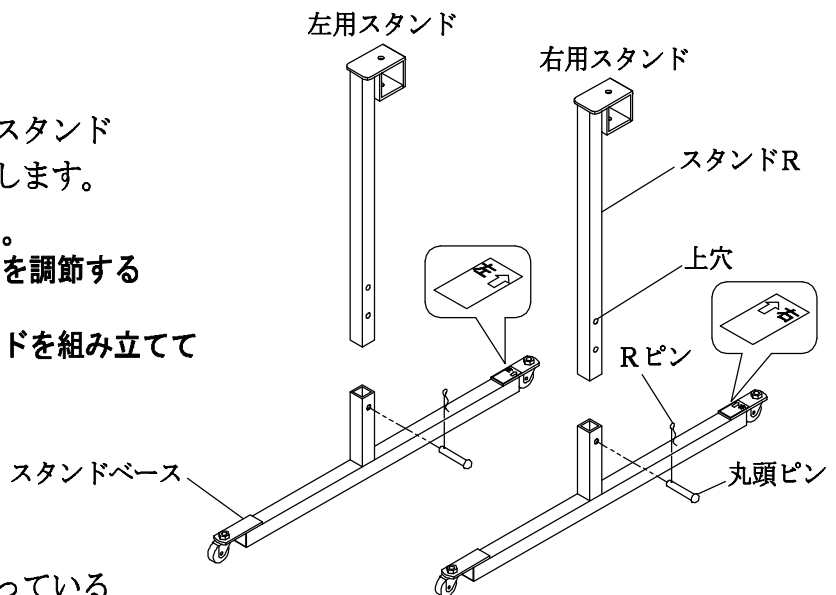
- (1) キャスターベースをスタンドベースに取り付けて下さい。
- (2) スタンドアームをスタンドベースに差し込んで、トラクタのバンパーの高さに合わせて固定して下さい。
- (3) コントロールボックスのコネクタを外します。
※ コネクタを外すときは、無理に引っ張らずロック解除ツマミを押しながら引き抜いて下さい。
※ トラクタ本体側の外した配線は、車輪などに巻き込まれないように固定しておいて下さい。
- (4) フロントヒッチのノブボルトを外します。
- (5) スタンドアームをフロントヒッチに差し込み、Rピンで固定します。
- (6) スタンドアームのハンドルを回して散布機本体を上昇させて、トラクタから外して下さい。



(Rタイプ)

- (1) スタンドRを右図の様な向きでスタンドベースに入れ、丸頭ピンで固定します。

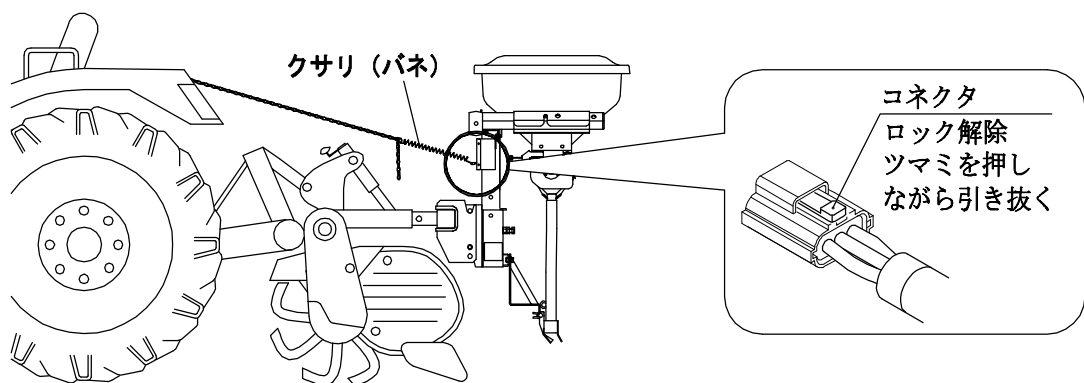
※ スタンドRには穴が2つあります。
使用する穴によってスタンド高さを調節することが出来ます。
基本的には上穴を利用してスタンドを組み立てて下さい。



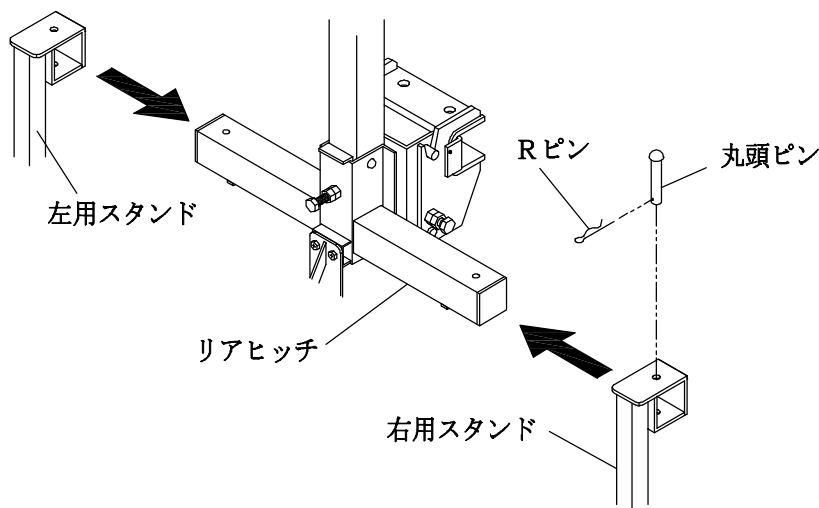
- (2) コントロールボックスにつながっているコネクタとクサリ（バネ）を外します。

※ コネクタを外すときは、無理に引っ張らずロック解除ツマミを押しながら引き抜いて下さい。

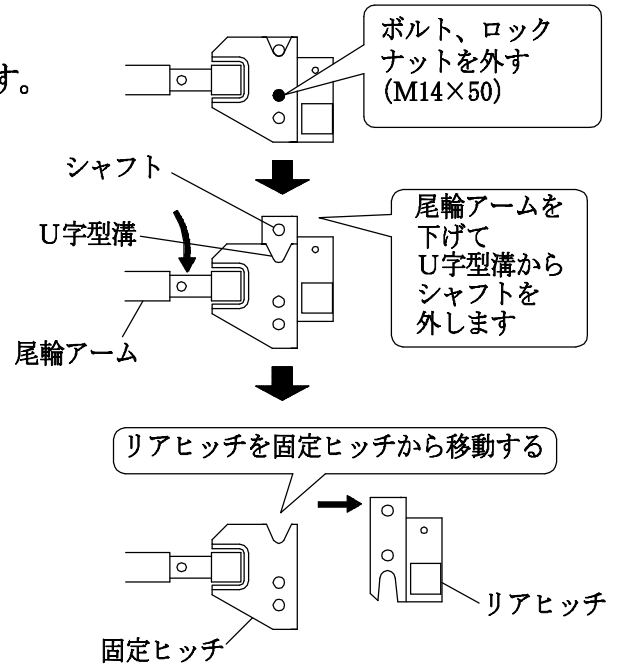
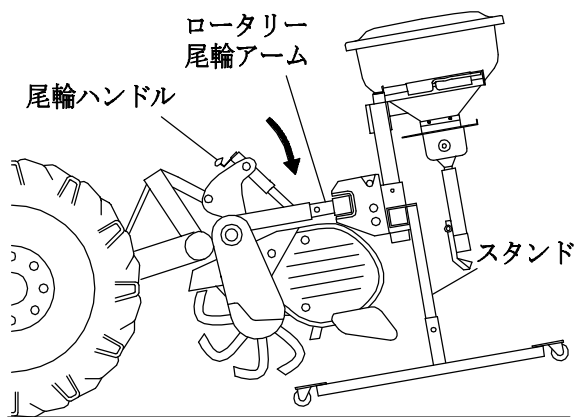
※ トラクタ本体側の外した配線とクサリ（バネ）は車輪などに巻き込まれないように固定しておいて下さい。



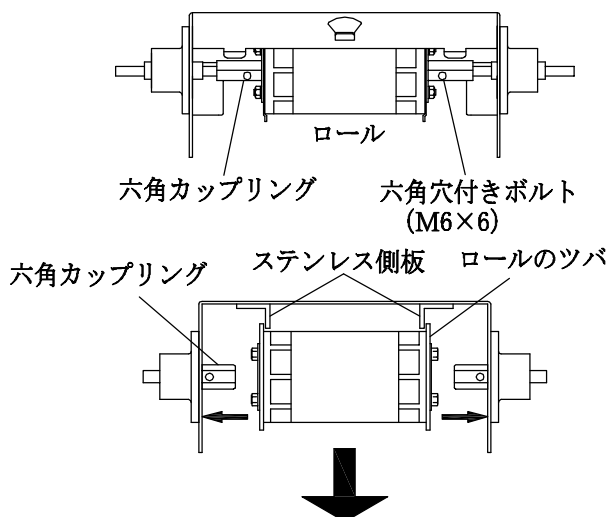
- (3) リアヒッチに下図の様な向きでスタンドを差し込み、丸頭ピンとRピンで抜け止めをします。



- (4) ボルト、ロックナットを外します。
- (5) 尾輪アームを下げ、U字型溝からシャフトを外します。
- (6) リアヒッチを固定ヒッチから移動します。



■ ロールの外し方



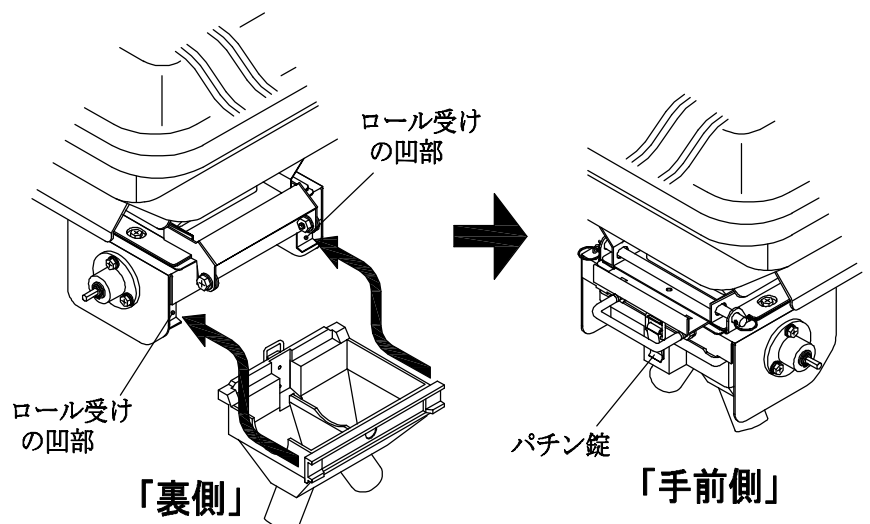
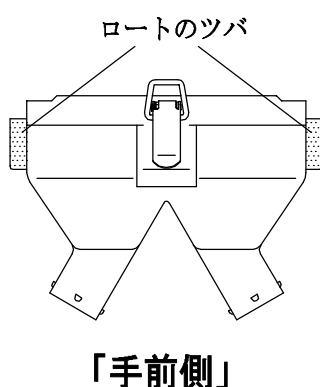
- (1) 六角穴付きボルトをゆるめ、六角カップリングを左右にずらし、ロールを外します。
(六角レンチ5mm使用)

※ ロールをセットするとき、ロールのツバが両側ともステンレス側板の外側になるように注意して下さい。

※ ロールをセットするとき、六角穴付きボルトは軸の平らな面に押付けて下さい。

■ ロートの取り付け・取り外し

- (1) ロール受け裏側にある凹部にロートのツバを入れます。
- (2) 手前をパチン錠で止めます。



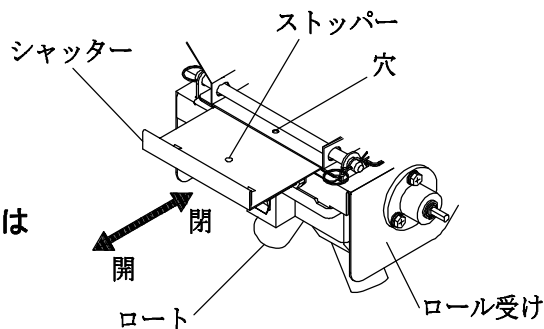
■ 散布分けの仕方

- (1) シャッターを閉めると、そのロートから出ているホースの肥料散布を停止することが出来ます。

※ シャッターを閉めても、ロールの中に入っている肥料は排出されます。

※ シャッターのストッパーがロール受けの穴に入るまで確実に押し込んで下さい。

※ シャッターを開ける時もストッパーがロール受けの穴に入るまで確実に引き出して下さい。(シャッターにはストッパーが前後2個あります。)



■ 繰り出し部オープン機構の使い方

ホッパーに残った肥料の排出や繰り出し部の掃除などメンテナンスをするときに便利な機能です。

- (1) シャッターを閉めて、ロートを外します。

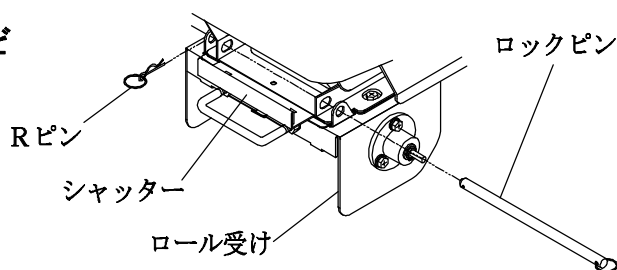
(ロートの外し方は、P.12 ロートの取り付け・取り外しを参照)

- (2) ロール受けのロックピンとRピンを外します。(図1)

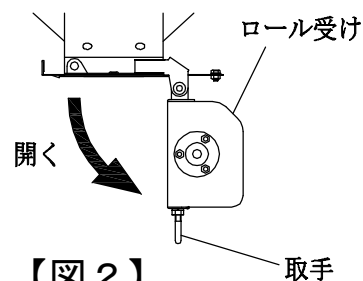
70F/Rの場合は、左右2つのロール受けのロックピンとRピンを外します。

- (3) 取手を持って、ロール受けを図の様に開きます。(図2)

※ 70F/Rの場合は、必ず2つのロール受けを一緒に開いて下さい。片側ずつ開くと、ジョイント軸が外れたり、ヒンジ部が変形したりして機械が破損する恐れがあります。



【図1】



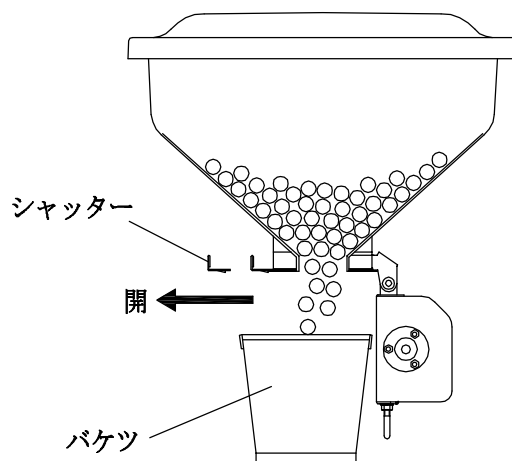
【図2】

- (4) 図の様にバケツ等を準備し、シャッターを開いて肥料の残量を排出して下さい。(図3)
排出後はエアーコンプレッサー等で繰り出し部を掃除して下さい。

- (5) メンテナンス終了後は、逆の手順でロール受けを閉じて下さい。

※ 70F/Rの場合は、ヒンジ等の変形防止の為、必ず2つのロール受けを一緒に操作して下さい。

※ メンテナンスの時以外は、必ずロックピンとRピンでロール受けを固定して下さい。



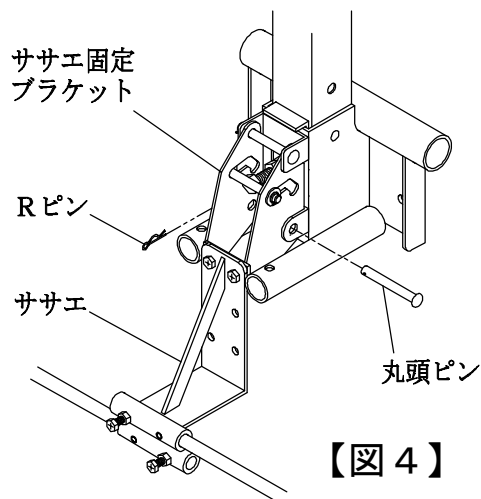
【図3】

■ あぜごえ跳ね上げ機構 (55F, 70Fのみの機能)

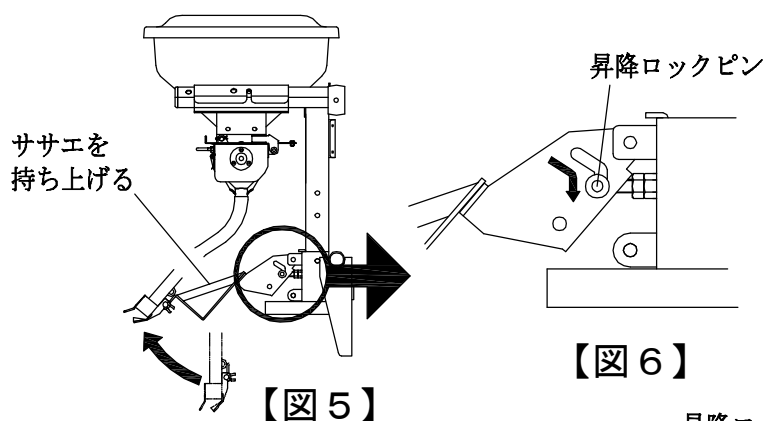
圃場間の移動や畦を乗り越える際に、拡散器が地面にぶつからない様にする機能です。

- (1) ササエ固定ブラケットを固定している丸頭ピンとRピンを外します。(図4)
- (2) ササエを持ち上げると、昇降ロックピンが下に移動し、拡散器を持ち上げた状態でロックすることができます。(図5)(図6)

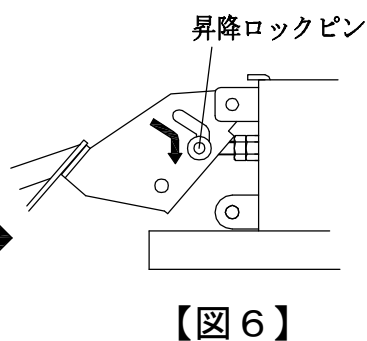
※ アームを低い位置で組み付けているときや、ホースの長さが短いと、ササエが持ち上げ難くなることがあります。そのときは、ホースを拡散器から外してから、跳ね上げ機構を使用して下さい。(図7)



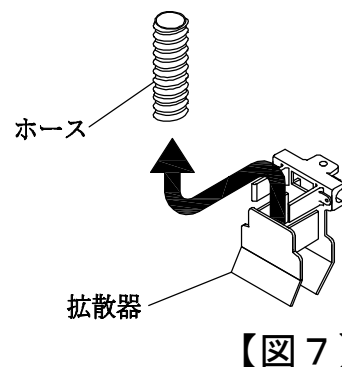
【図4】



【図5】

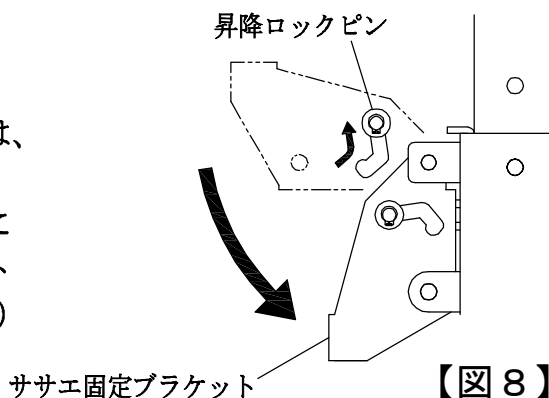


【図6】



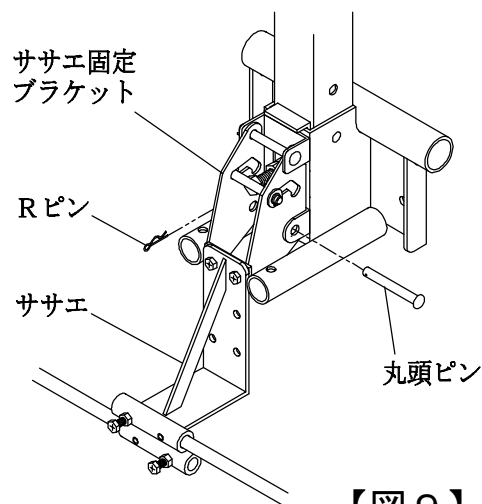
【図7】

- (3) 拡散器を元の位置に戻すときは、ササエを軽く持ち上げてから、昇降ロックピンを矢印の方向に移動し、ササエ固定ブラケットを元の位置に戻します。(図8)



【図8】

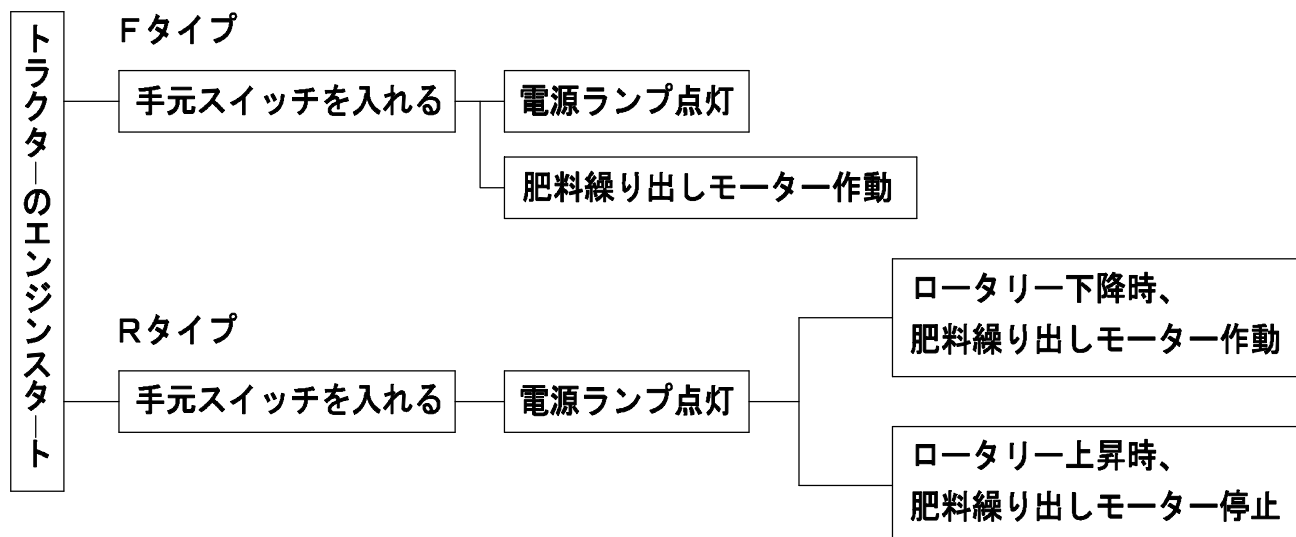
- (4) ササエがグラつかない様に、ササエ固定ブラケットの下穴に丸頭ピンを差し込んでRピンで固定して下さい。(図9)



【図9】

■ 散布要領

組み付け、配線が完了しましたら、トラクターのエンジンを始動させて下さい。



- (1) 肥料の散布量の調節は、手元スイッチボックスのつまみで調節します。
- (2) 動作確認後に圃場にて肥料をホッパーに投入します。
- ※ 肥料は必ず圃場で投入して下さい。肥料を入れたまま走行すると、振動等により肥料がしまりヒューズ切れなどの故障の原因になります。
- ※ 各タイプとも作業終了後の手元スイッチの切り忘れにご注意ください。

■ 使用後の管理

A. その日の作業が終わった時（点検や掃除の際は必ずスイッチを切して下さい。）

- (1) 散布目盛を10にしてロールを回転させるか、繰り出し部オープン機構(P.13参照)を使用して、ホッパー内に残った肥料を完全に排出して下さい。
- (2) 拡散器に付着した肥料や泥土は、よく取り除いて下さい。
- (3) ホッパー内部及びブラシ、ロール等の水濡れは翌日の作業に影響しますので、雨・夜露等水がかからないように十分注意して下さい。
- (4) ホッパーのフタは必ず、フタの金具がホッパーのふちに引っかかるように確実に押し込んで下さい。（Rタイプの場合は、ホッパー側面のパチン錠も締めて下さい。）

B. 全作業が終わった時（配線のコネクターを外して下さい。）

- (1) ホッパーの内外をよく清掃して下さい。（水洗いはしないで下さい。）
水がかかった場合は完全乾燥させて下さい。
- (2) ロートを外すとブラシが見えますので、ブラシの間に残った肥料をよく取り除いて下さい。
また、繰り出し部オープン機構を使用すると掃除がし易くなります。（P.13参照）
- (3) フレーム等に付着した肥料をよく落として下さい。
- (4) ロート及びホースを外し、付着した肥料をよく取り除いて下さい。
- (5) ロールを外し、付着した肥料をよく取り除いて下さい。
- (6) コントロールボックスなど電気部品に水がかからないように注意して下さい。
- (7) ホースを丸めるとクセが付きますので、まっすぐにした状態で保管して下さい。
- (8) ホッパーのフタは必ず、フタの金具がホッパーのふちに引っかかるように確実に押し込んで下さい。（Rタイプの場合は、ホッパー側面のパチン錠も締めて下さい。）

※ 肥料等の散布剤は、強い酸性を有していますので、掃除は念入りに行い完全に乾燥させて下さい。

■ 故障の原因と対応について

肥料散布機の動作がおかしい時、以下の項目に沿って故障の原因を探して下さい。

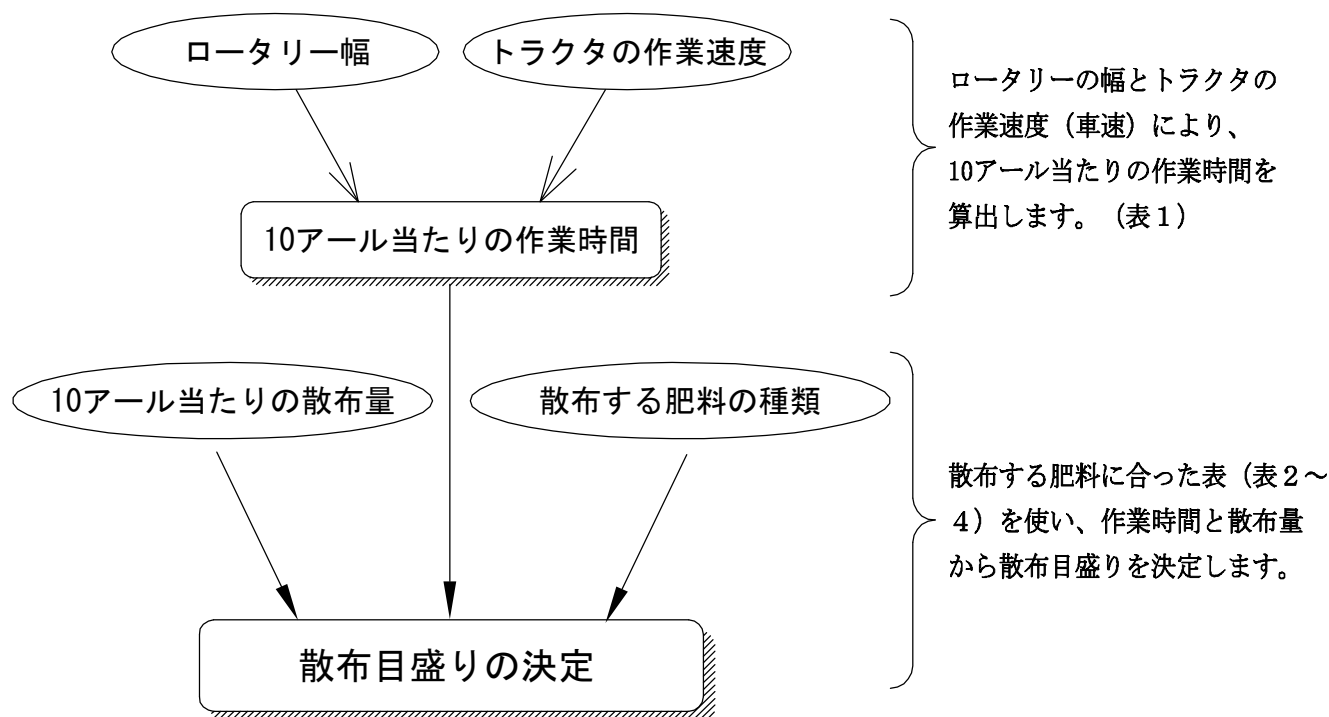
※ コネクタの差込み不良や接触不良も動作不良の原因になるので確認して下さい。

トラブル 内容	考えられる 原因	お客様にご確認して いただきたい事項
ヒューズが 切れる	ケーブルの ショート	車輪での巻き込みやペダルでの圧迫によりショートしていませんか？ショート部分を修復して、巻き込まれない位置にケーブルを通して下さい。
	ホッパー内肥料の しまり	肥料を事前に投入して、シャッターを開けたまま路上走行していませんか？肥料の投入は圃場で行って下さい。
	ロール軸の固着 残存肥料の固着	ロールやロール軸に肥料が固着していませんか？ロートを外してロール周りの肥料を掃除して下さい。ロールが異常に重い場合は、ロール軸を交換します。
	モーター不良	過負荷要因を取り除いた後、モーターに12Vを直結してもモーターが作動しない場合は、モーターを交換します。
モーターが 回らない (電源ランプは 消えている)	ヒューズ切れ	ヒューズが切れていませんか？指定された容量のヒューズに交換して下さい。（原因を取り除く） (ヒューズ容量 5A)
	バッテリー端子の 接続不良	バッテリー端子の腐食やネジの緩みはありませんか？端子の腐食を磨いてネジをしっかり締めて下さい。
	バッテリー端子の 逆接続	バッテリー端子の⊕⊖を逆につないでいませんか？正しくつなぎ直して下さい。
	ケーブルの 断線	車輪などに巻き込まれてケーブルが断線していませんか？断線箇所をつないで巻き込まれないようにケーブルを通して下さい。
電源スイッチを 入れるとランプが 暗くなる	バッテリー端子の 接続不良	バッテリー端子の腐食やネジの緩みはありませんか？端子の腐食を磨いてネジをしっかり締めて下さい。
モーターが 回らない (電源ランプは ついている)	ケーブルの 断線	スイッチボックスからコントロールボックスの間でケーブルが断線していませんか？断線箇所をつないで、巻き込まれないようにケーブルを通して下さい。
	ロール軸の固着 残存肥料の固着	ロールやロール軸に肥料が固着していませんか？ロートを外してロール周りの肥料を掃除して下さい。ロールが異常に重い場合は、ロール軸を交換します。
散布量の調節が 出来ない	散布ロールの 溝詰まり	ロールの溝の中に肥料が詰まっていますか？ロートを外してロールの溝を掃除して下さい。
肥料がうまく まけない	大径肥料や湿った 肥料の使用	大径肥料や湿った肥料を使用していませんか？ロールの溝幅を超えるものや湿ったものは散布できません。

■ 散布量目盛の決め方

※肥料の形状、比重等によって散布量は変わります。

表で求めた目盛りは目安ですので、必ず実際の散布（１０アール位）後に目盛りを決めて下さい。



■ 表１ １０アール当たりの作業時間

（例）ロータリー幅が 1600 [mm] で車速が 2.3 [km/h] の場合、10アール当たりの作業時間は 17 [分] となります。

車速[km/h] ロータリー幅[mm]	1.0	1.2	1.5	1.7	2.1	2.3	2.5	2.8	3.0	3.6	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0
800	86	71	57	50	41	37	34	31	29	24	21	19	17	16	14
1000	67	56	44	39	32	29	27	24	22	19	17	15	13	12	11
1200	55	45	36	32	26	24	22	19	18	15	14	12	11	10	9
1300	50	42	33	29	24	22	20	18	17	14	12	11	10	9	8
1400	46	38	31	27	22	20	18	16	15	13	12	10	9	8	8
1500	43	36	29	25	20	19	17	15	14	12	11	10	9	8	7
1600	40	33	27	24	19	17	16	14	13	11	10	9	8	7	7
1700	37	31	25	22	18	16	15	13	13	10	9	8	8	7	6
1800	35	29	24	21	17	15	14	12	12	10	9	8	7	6	6
2000	32	26	21	19	15	14	13	11	11	9	8	7	6	6	5
2200	29	24	19	17	14	12	11	10	9	8	7	6	6	5	5
2400	26	22	17	15	12	11	10	9	8	7	6	6	5	5	4

※ ターン等の時間は含んでおりません。

作業時間はロータリーの重ねしろ（両端で１０センチ）を考慮して算出しています。

■ 表2 粒状化成（中粒）の散布目盛り

参考肥料：陸稲、水稻専用
肥料12-16-14

(例) 10アール当たりの作業時間が 17 [分]で、散布する肥料の量が 60 [Kg]の場合、目盛りは 7.3 となります。

10a当りの散布量		20kg	30kg	40kg	60kg	80kg	100kg	120kg	150kg	200kg	250kg
10 ア ー ル 当 た り の 作 業 時 間	4分	9.2									
	6分	6.2	8.8								
	8分	4.9	7.8								
	10分	3.7	6.0	8.4							
	12分	2.9	4.9	6.8							
	14分	2.4	4.0	5.7	9.0						
	17分	1.8	3.2	4.5	7.3	10.0					
	21分	1.3	2.4	3.5	5.7	7.9					
	25分		1.9	2.8	4.7	6.5	8.4				
	30分		1.4	2.2	3.7	5.3	6.8	8.4			
	36分		1.0	1.7	2.9	4.2	5.5	6.8	8.8		
	43分			1.2	2.3	3.4	4.5	5.6	7.2	9.9	
	52分				1.8	2.6	3.5	4.4	5.8	8.0	
	62分				1.3	2.1	2.8	3.6	4.7	6.6	8.4
	75分					1.6	2.2	2.8	3.7	5.3	6.8
	90分					1.1	1.7	2.2	2.9	4.2	5.5

■ 表3 ケイカル（砂状）の散布目盛り

参考肥料：鹿島ケイカル1号

(例) 10アール当たりの作業時間が 17 [分]で、散布する肥料の量が100 [Kg]の場合、目盛りは 7.1 となります。

10a当りの散布量		40kg	60kg	80kg	100kg	120kg	150kg	200kg	250kg	300kg	400kg
10 ア ー ル 当 た り の 作 業 時 間	6分	7.9									
	8分	6.0	9.1								
	10分	4.8	7.3	9.8							
	12分	3.9	6.0	8.1							
	14分	3.3	5.1	6.9	8.7						
	17分	2.7	4.2	5.6	7.1	8.6					
	21分	2.1	3.3	4.5	5.7	6.9	8.7				
	25分	1.8	2.8	3.8	4.8	5.8	7.3	9.8			
	30分	1.4	2.3	3.1	3.9	4.8	6.0	8.1			
	36分	1.1	1.8	2.5	3.2	3.9	5.0	6.7	8.4		
	43分		1.5	2.1	2.7	3.2	4.1	5.6	7.0	8.5	
	52分		1.2	1.7	2.2	2.6	3.4	4.6	5.8	7.0	9.4
	62分			1.4	1.8	2.2	2.8	3.8	4.8	5.8	7.8
	75分			1.1	1.4	1.8	2.3	3.1	3.9	4.8	6.4
	90分				1.1	1.4	1.8	2.5	3.2	3.9	5.3

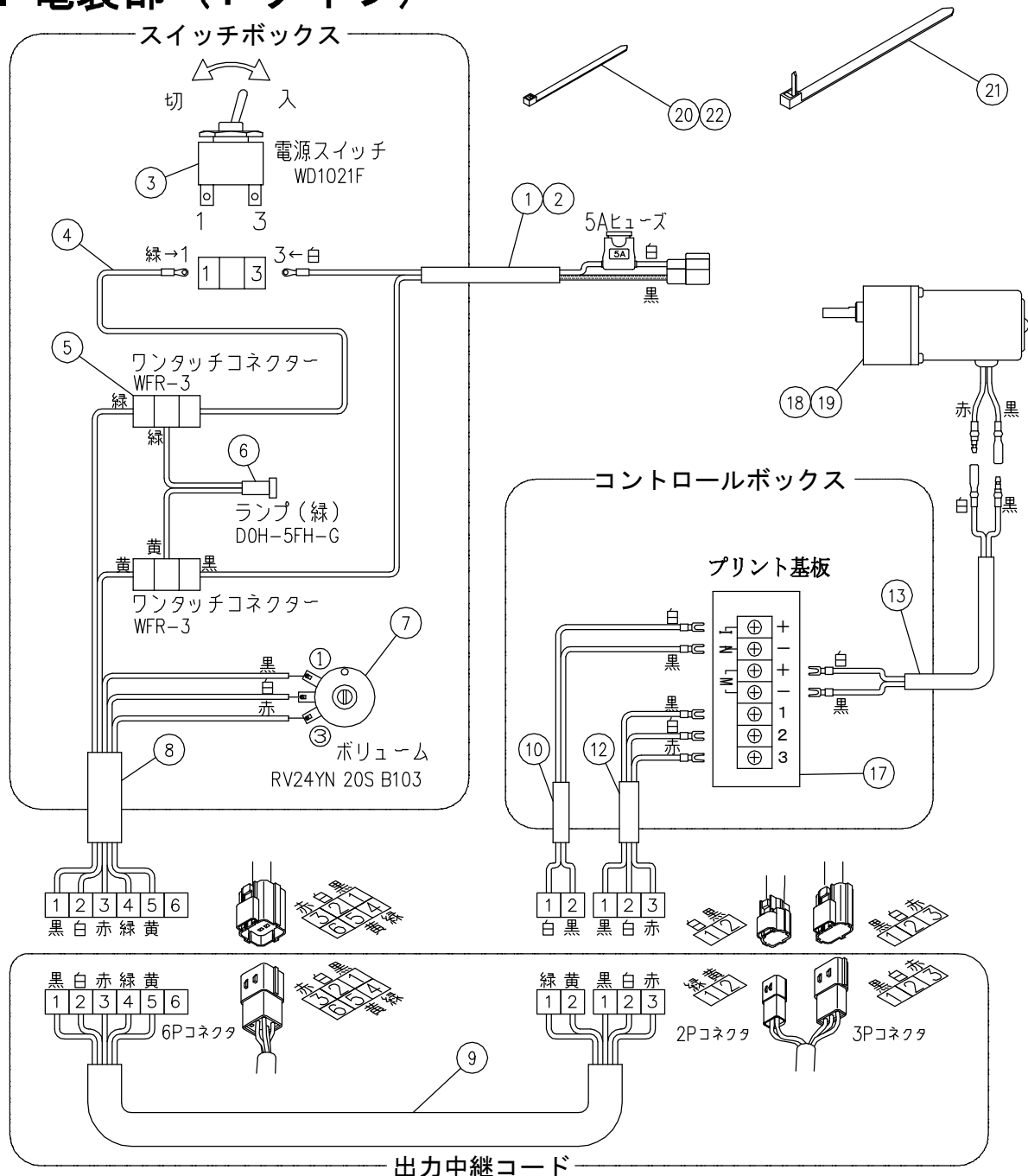
■ 表4 ヨウリン（砂状）の散布目盛り

参考肥料：中国ヨウリン

(例) 10アール当たりの作業時間が 17 [分]で、散布する肥料の量が100 [Kg]の場合、目盛りは 6.9 となります。

10a当りの散布量		40kg	60kg	80kg	100kg	120kg	150kg	200kg	250kg	300kg	400kg
10 ア ー ル 当 た り の 作 業 時 間	6分	7.6									
	8分	5.8	8.9								
	10分	4.5	7.0	9.5							
	12分	3.7	5.8	7.8	9.9						
	14分	3.1	4.9	6.6	8.4						
	17分	2.4	3.9	5.4	6.9	8.3					
	21分	1.9	3.1	4.3	5.5	6.6	8.4				
	25分	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	7.0	9.5			
	30分	1.2	2.0	2.8	3.7	4.5	5.8	7.8	9.9		
	36分		1.6	2.3	3.0	3.7	4.7	6.4	8.2	9.9	
	43分		1.2	1.8	2.4	3.0	3.9	5.3	6.8	8.2	
	52分			1.4	1.9	2.4	3.1	4.3	5.5	6.7	9.1
	62分			1.1	1.5	1.9	2.5	3.5	4.5	5.5	7.6
	75分				1.2	1.5	2.0	2.8	3.7	4.5	6.2
	90分					1.2	1.6	2.3	3.0	3.7	5.1

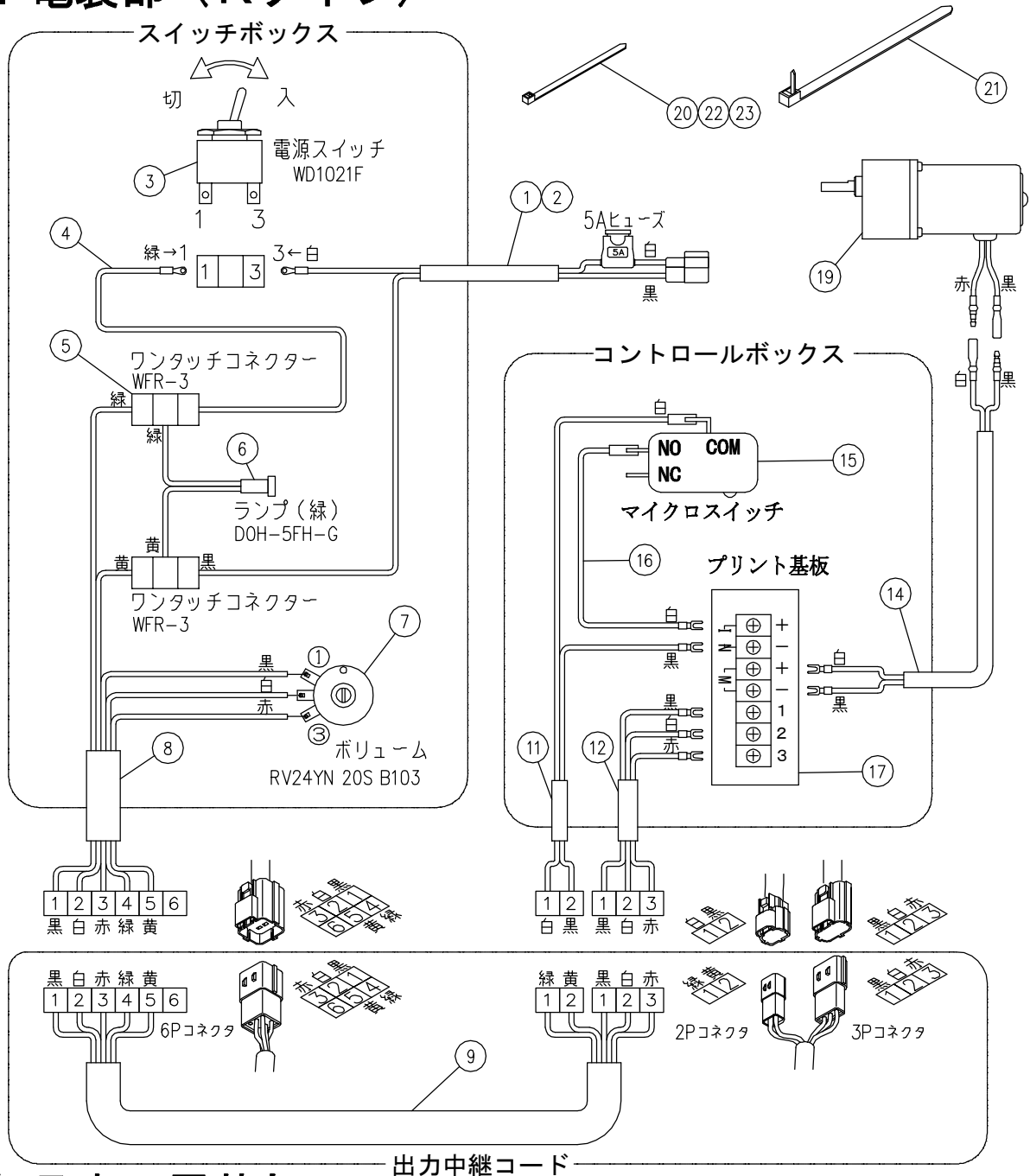
■ 電装部（Fタイプ）



■ 部品表 電装部

NO.	部 品 名	55 F	70 F	70 R
1	電源入力コード (TD-37-641)	1	1	1
2	ヒューズ 5A (予備 1 個付)	2	2	2
3	トグルスイッチ (WD1021 F)	1	1	1
4	渡り線 (TE-37-328)	1	1	1
5	ワンタッチコネクター (WFR-3)	2	2	2
6	ランプ (緑)	1	1	1
7	ボリューム	1	1	1
8	出力コード (TD-37-642)	1	1	1
9	出力中継コード (TD-37-643)	1	1	1
10	電源線 F (コネクタ付き)	1	1	
11	電源線 R (コネクタ付き)			1

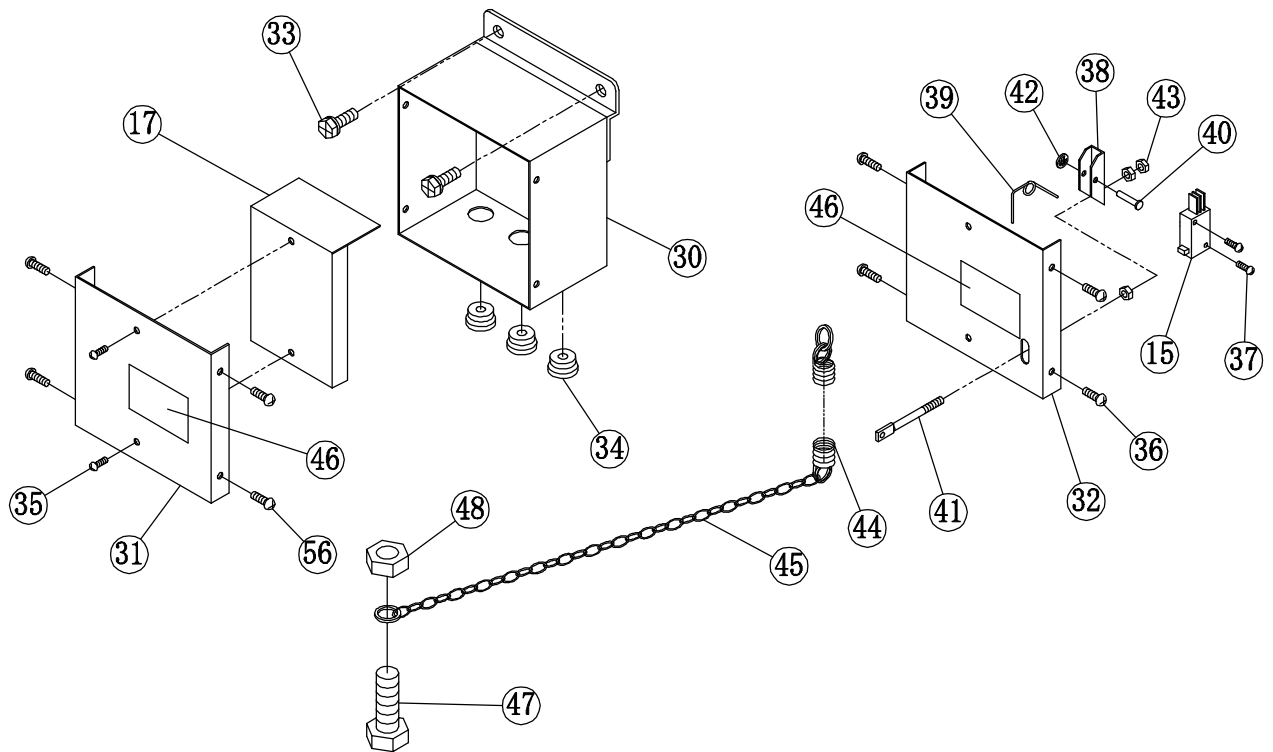
■ 電装部（Rタイプ）



■ 部品表 電装部

NO.	部 品 名	55F	70F	70R
12	ボリューム線 (コネクタ付き)	1	1	1
13	モーター線 (L300)	1	1	
14	モーター線 (L650)			1
15	マイクロスイッチ V-15-1C26			1
16	マイクロ渡り線			1
17	基板ユニット	1	1	1
18	ギヤードモーター 16W	1		
19	ギヤードモーター 20W		1	1
20	インシュロックタイ AB-150	2	2	2
21	リリースタイ RELK-2R	10	10	10
22	インシュロックタイ AB-100	3	3	3
23	インシュロックタイ AB-250			1

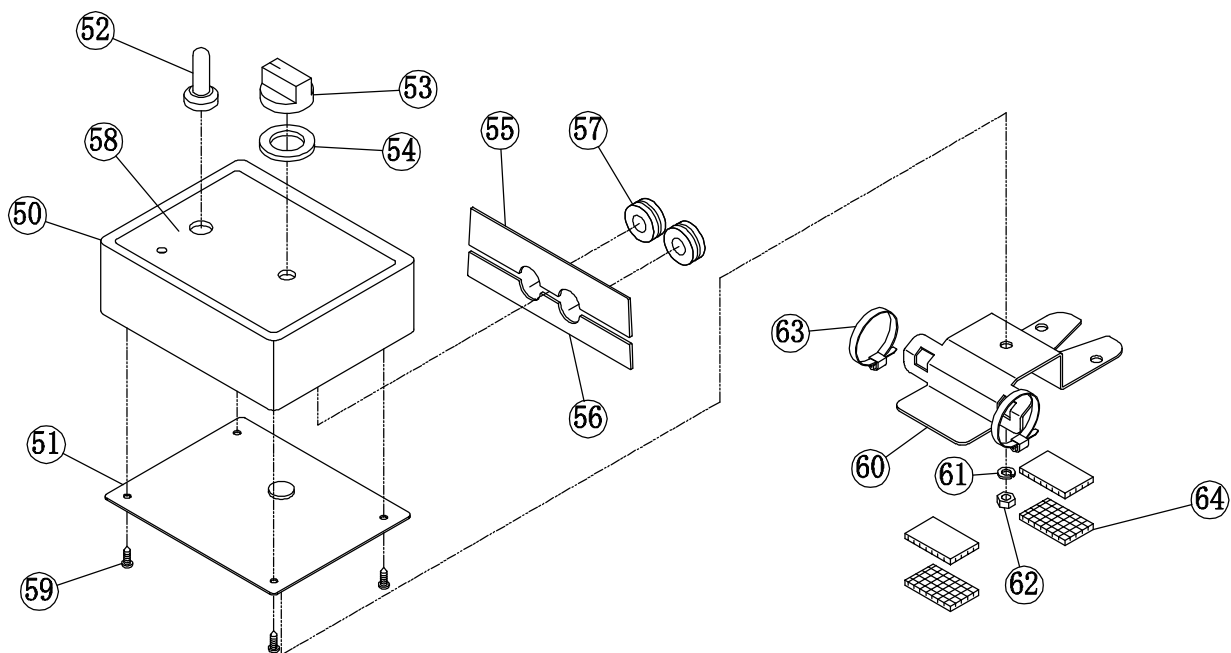
■ コントロールボックス部



■ 部品表 コントロールボックス部

NO.	部 品 名	55 F	70 F	70 R
30	コントロールボックス	1	1	1
31	コントロールパネル F	1	1	
32	コントロールパネル R			1
33	ばね座金組込み十字穴付き六角ボルト M6×15	2	2	2
34	グロメット B8-1	3	3	3
35	ばね座金組込み十字穴付きなべ小ねじ M3×6 SUS	2	2	2
36	十字穴付きタッピンねじ M4×10 トラス 1種	4	4	4
37	ばね座金組込み十字穴付きなべ小ねじ M3×15			2
38	スイッチレバー			1
39	スプリング			1
40	薄平リベット φ3×20			1
41	スイッチ棒			1
42	C S形止め輪 φ3用 SUS			1
43	六角ナット M4 SUS			3
44	コイルスプリング SUS (リング付)			1
45	クサリ (リング付き) L1600			1
46	製造シール (TE-37-340)	1		
	製造シール (TE-37-341)		1	
	製造シール (TE-37-345)			1
47	六角ボルト M10×25 P1.25			1
48	六角ナット M10 P1.25			1

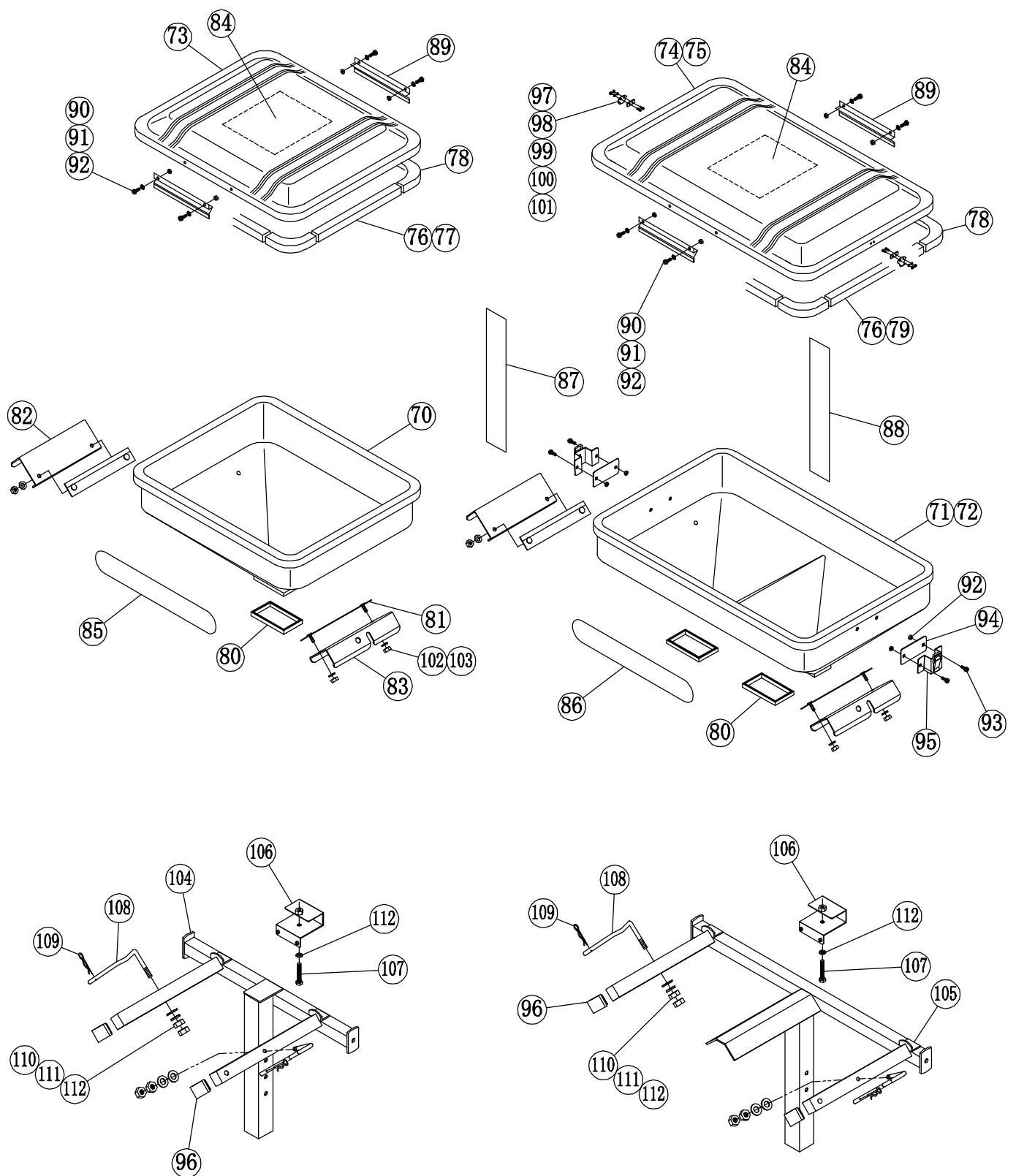
■ スイッチボックス部



■ 部品表 スイッチボックス部

No.	部 品 名	員数	No.	部 品 名	員数
50	スイッチボックスケース	1	58	UX, KXスイッチボックスシール	1
51	裏フタ	1	59	十字穴付きタッピンねじ M3×8 なべ2種	4
52	防水キャップ (WD1811B)	1	60	スイッチ取付座	1
53	ツマミ K-90-L	1	61	ばね座金 M6	1
54	ツマミ座	1	62	六角ナット M6	1
55	ハーネスホール上 (2本ハーネス用)	1	63	ステンレスバンド (W2-SX-T9-20)	2
56	ハーネスホール下 (2本ハーネス用)	1	64	マジックテープ	4
57	グロメット B10-2	2			

■ ホッパー部及びビーム部



55F

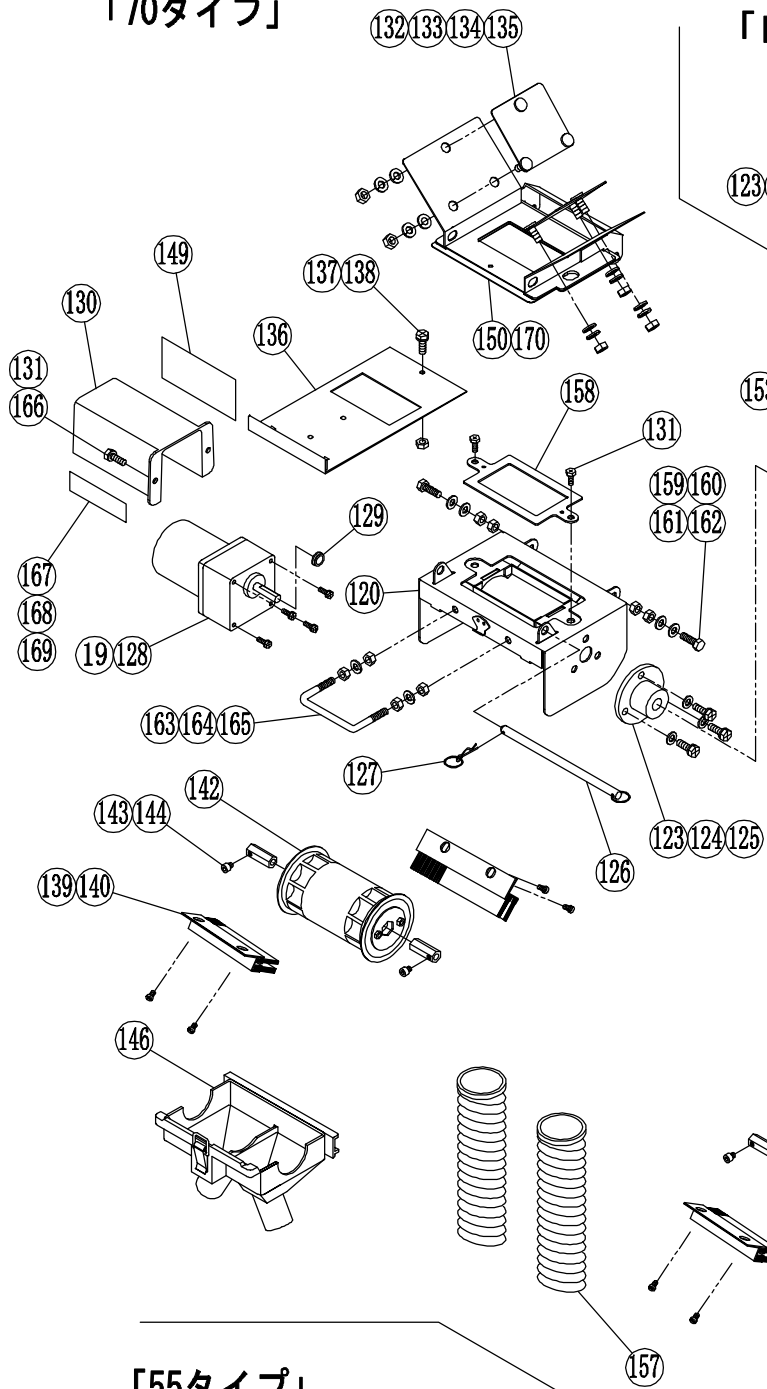
70F/R

■ 部品表 ホッパー部及びアーム部

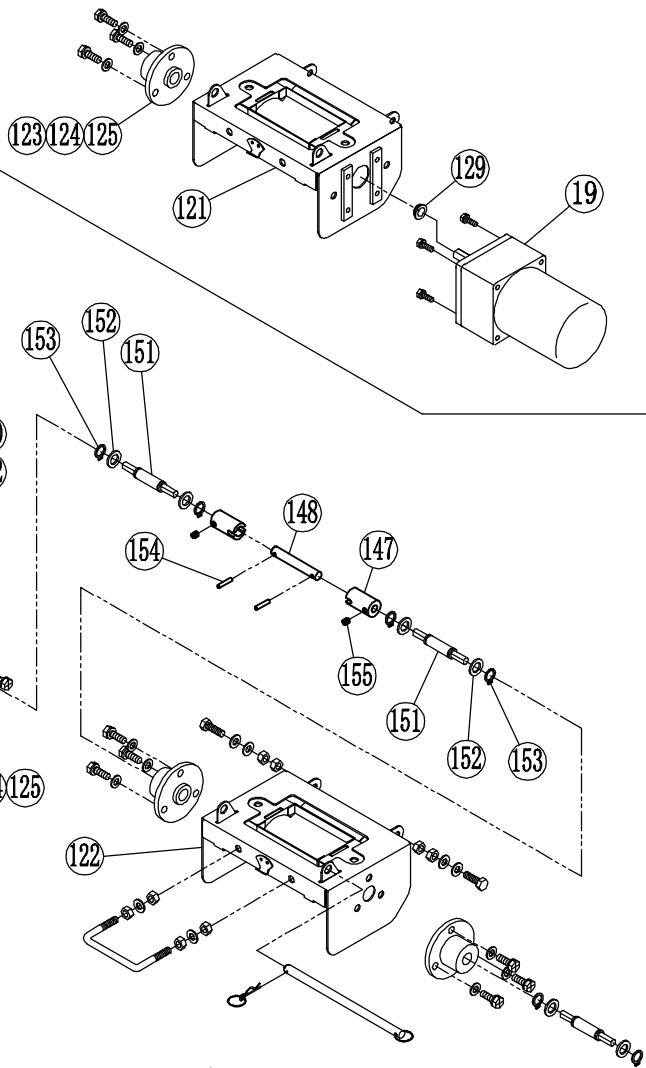
NO.	部 品 名	55F	70F	70R
70	ホッパー55 (パチン錠穴無し、コントローラー穴無し)	1		
71	ホッパー70 (パチン錠穴有り、コントローラー穴無し)			1
72	ホッパー70 (パチン錠穴無し、コントローラー穴無し)		1	
73	フタ 55 (パチン錠穴無し)	1		
74	フタ 70 (パチン錠穴有り)			1
75	フタ 70 (パチン錠穴無し)		1	
76	エプトシール (t5×20×305)	2	2	2
77	エプトシール (t5×20×455)	2		
78	エプトシール (コーナー用)	4	4	4
79	エプトシール (t5×20×635)		2	2
80	パッキン 50	1	2	2
81	ホッパー固定座	2	2	2
82	ホッパー金具A	1	1	1
83	ホッパー金具B	1	1	1
84	散布量表	1	1	1
85	メインシール 55用	1		
86	メインシール 70用		1	1
87	容量目盛りシール 55用	1		
88	容量目盛りシール 70用		1	1
89	フタストッパー	2	2	2
90	ばね座金組込み十字穴付き六角ボルト M6×10 SUS	8	8	8
91	平座金 M6用 SUS	8	8	8
92	六角ナット M6 SUS	4	4	8
93	ばね座金組込み十字穴付き六角ボルト M6×15 SUS			4
94	パチン錠台座裏当て			2
95	パチン錠 C-1012-2-2 (台座付)			2
96	角中栓 □40	2	2	2
97	パチン錠ツメ			2
98	パチン錠ツメ裏当て			2
99	十字穴付きトラス小ねじ M3×8 SUS			4
100	六角ナット M3 SUS			4
101	ばね座金 M3用 SUS			4
102	ばね座金 M8用 SUS	4	4	4
103	六角ナット M8 SUS	4	4	4
104	アーム 55F/R	1		
105	アーム 70F/R		1	1
106	ボックス取付台 (□40用)	1	1	1
107	六角ボルト M10×65	1	1	1
108	ホッパー固定ネジ	2	2	2
109	Rピン φ10	2	2	2
110	六角ナット M10	4	4	4
111	平座金 M10	2	2	2
112	ばね座金 M10	3	3	3

■ ロート部 (55 F, 70 F / R)

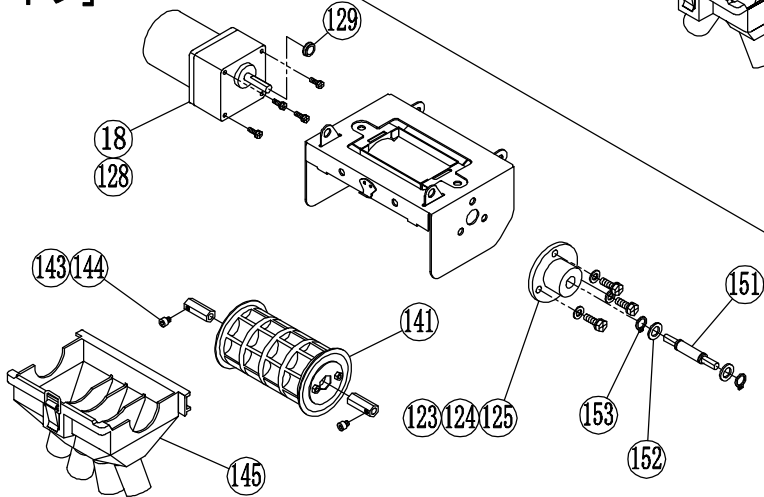
「70タイプ」



「Rタイプ」



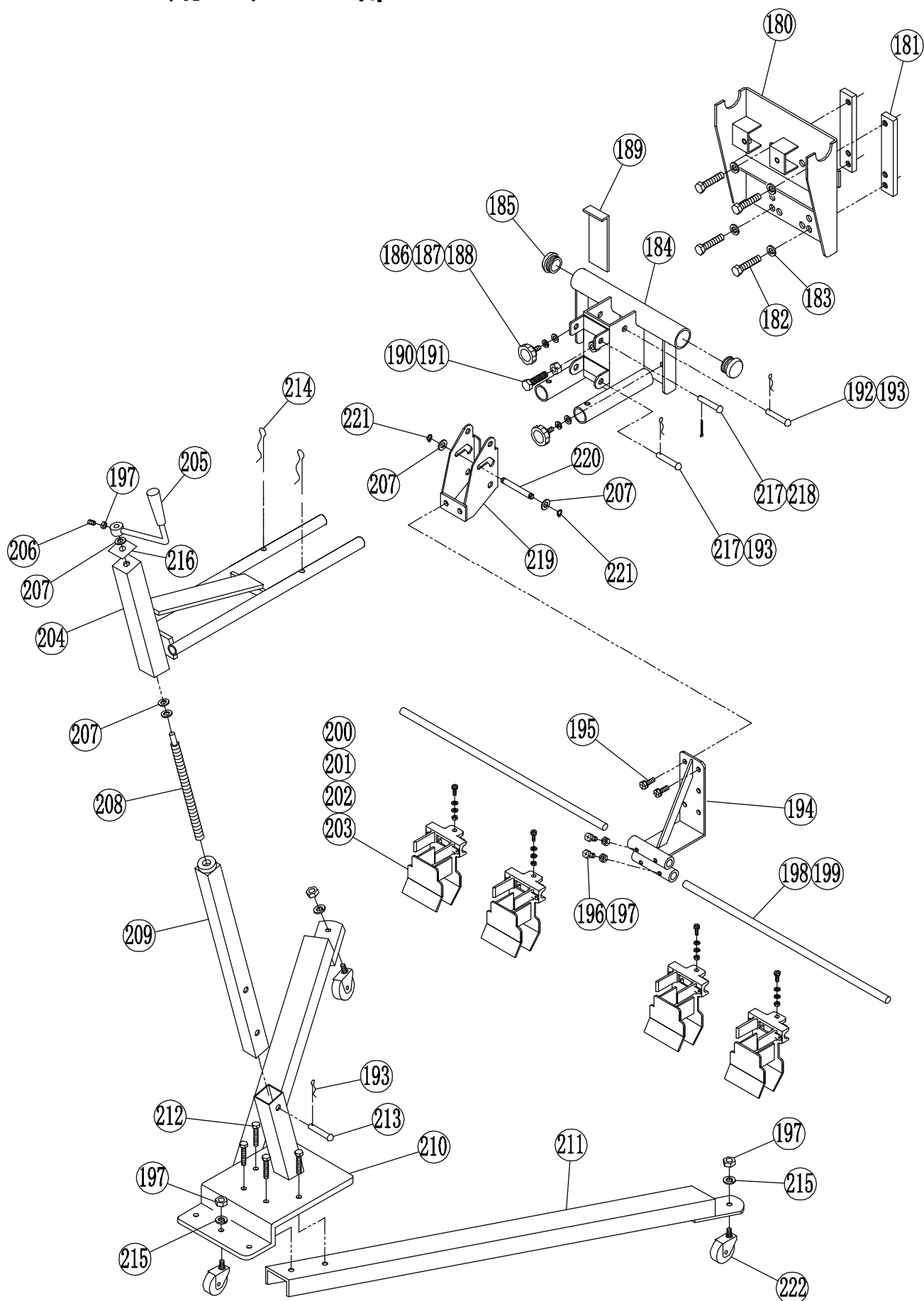
「55タイプ」



部品表 ロート部 (55F, 70F/R)

NO.	部 品 名	55F	70F	70R
120	ロール受け下A (パチン錠ツメ付)	1	1	
121	ロール受け下B (パチン錠ツメ付)			1
122	ロール受け下C (パチン錠ツメ付)		1	1
123	ロール軸受け	1	3	3
124	ばね座金組込み十字穴付き六角ボルト M6×15 SUS	3	9	9
125	平座金 M6用 SUS	3	9	9
126	ロックピン (リング付)	1	2	2
127	Rピン (リング付)	1	2	2
128	ばね座金平座金組込み十字穴付き六角ボルト M4×15 SUS	4	4	4
129	Vリング	1	1	1
130	モーターカバー	1	1	1
131	ばね座金組込み十字穴付き六角ボルト M6×15	4	6	6
132	ロール受け固定座	2	4	4
133	平座金 M8用 SUS	6	12	12
134	ばね座金 M8用 SUS	6	12	12
135	六角ナット M8 SUS	6	12	12
136	シャッター	1	2	2
137	ばね座金組込み十字穴付き六角ボルト M6×10 SUS	1	2	2
138	六角ナット M6 SUS	1	2	2
139	ブラシユニット120 (ナイロン)	2	4	4
140	ばね座金平座金組込み十字穴付きなべ小ねじ M4×6 SUS	4	8	8
141	ロールユニット 4×20	1		
142	ロールユニット 2×20 (巾110mm)		2	2
143	六角カップリングロング	2	4	4
144	六角穴付きボルト M6×6 SUS	2	4	4
145	ロート4口 (パチン錠付)	1		
146	ロート2口 (パチン錠付)		2	2
147	ジョイント (溝付き)		2	2
148	ジョイント軸 $\phi 10 \times 69$ (穴公差有り)		1	1
149	注意シール (TE-37-339)	1	1	1
150	ロール受け上	1	2	2
151	ロール軸 $\phi 12$	1	3	3
152	平座金 M12用 SUS	2	6	6
153	C形止め輪 $\phi 12$ 軸用 SUS	2	6	6
154	スプリングピン 呼び径4×L20 (一般荷重用) SUS		2	2
155	六角穴付き止めねじ M6×6 SUS		2	2
156	――			
157	ホース (内径 $\phi 31.8$) L800	4	4	4
158	ロール受けプレート	1	2	2
159	六角ボルト M8×25 (細目)	2	4	4
160	六角ナット M8 (細目)	4	8	8
161	皿ばね座金 呼び $\phi 8$ 1種 (軽荷重) 1L	2	4	4
162	平座金 M8用	4	8	8
163	取手	1	2	2
164	ばね座金 M8用	2	4	4
165	六角ナット M8	4	8	8
166	平座金 M6用	2	2	2
167	型式シール UX-55F (TE-37-356)	1		
168	型式シール UX-70F (TE-37-357)		1	
169	型式シール UX-70R (TE-37-361)			1
170	L字パッキン	2	4	4

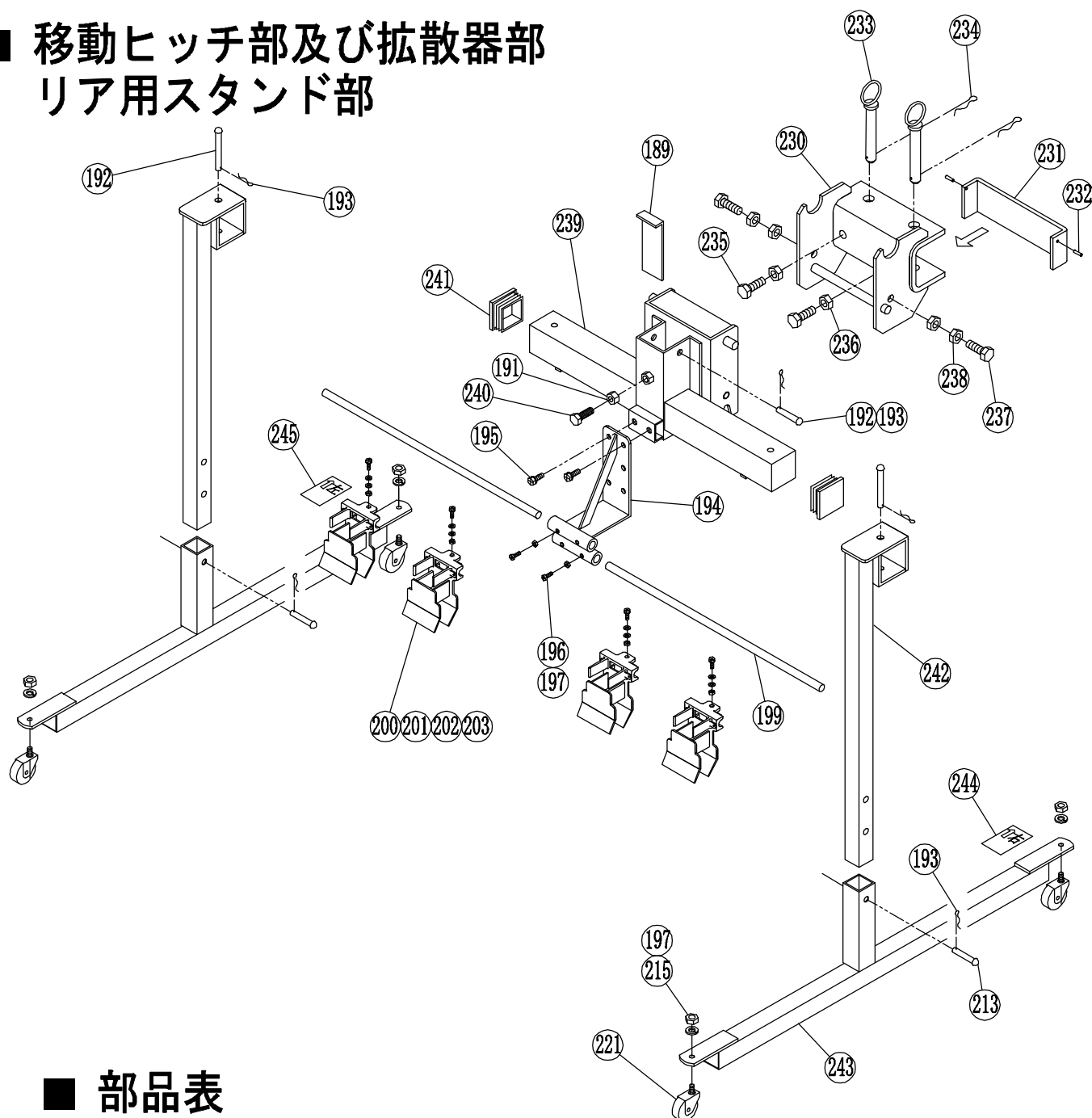
■ フロントヒッチ部及び拡散器部 フロント用スタンド部



■ 部品表 フロントヒッチ部及び拡散器部 フロント用スタンド部

NO.	部 品 名	55 F	70 F	70 R
180	バンパーブラケット	1	1	
181	ブラケットホルダー	2	2	
182	六角ボルト M12×55	4	4	
183	ばね座金 M12用	4	4	
184	フロントヒッチ 55、70 (UX)	1	1	
185	丸中栓 φ42.7	2	2	
186	ノブボルト M8×20 SUS	2	2	
187	ばね座金 M8用 SUS	2	2	
188	平座金 M8用 SUS	2	2	
189	当て板B	1	1	1
190	六角ボルト M12×45	1	1	
191	六角ナット M12	1	1	1
192	丸頭ピン φ10×85	1	1	3
193	Rピン φ10用 B形	3	3	5
194	ササエ	1	1	1
195	ばね座金組込み十字穴付き六角ボルト M8×20	2	2	2
196	十字穴付き六角ボルト M8×20	2	2	2
197	六角ナット M8	6	6	6
198	拡散器用バー φ14×550	2		
199	拡散器用バー φ14×800		2	2
200	拡散器	4	4	4
201	ばね座金組込み十字穴付き六角ボルト M6×30 SUS	4	4	4
202	平座金 M6用 SUS	8	8	8
203	六角ナット M6 SUS	4	4	4
204	スタンドアーム□40	1	1	
205	ニギリハンドルアッシ	1	1	
206	六角穴付き止めねじ M8×20 とがり先	1	1	
207	平座金 M10用	5	5	
208	ネジシャフト M16 左	1	1	
209	中柱□35	1	1	
210	スタンドベース□40	1	1	
211	キャスターベース	2	2	
212	ばね座金組込み十字穴付き六角ボルト M8×25	4	4	
213	丸頭ピン φ10×50	1	1	2
214	Rピン φ22用	2	2	
215	ばね座金 M8用	3	3	4
216	回転方向シール (TE-37-285)	1	1	
217	丸頭ピン φ10×80	2	2	
218	割りピン φ2.5×L20	1	1	
219	ササエ固定ブラケット	1	1	
220	昇降ロックピン	1	1	
221	C形止め輪 φ10軸用	2	2	
222	キャスター L T-50-B N M8 P1.25	3	3	4

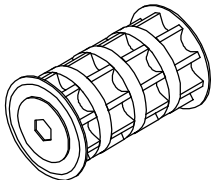
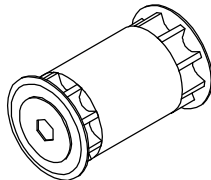
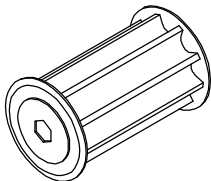
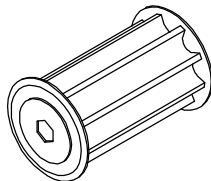
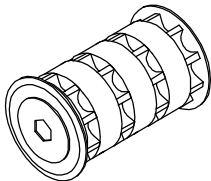
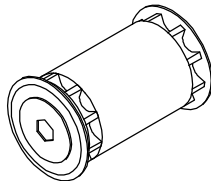
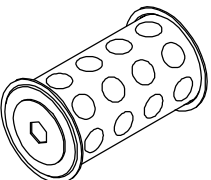
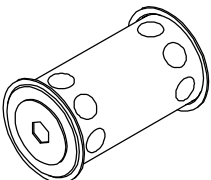
■ 移動ヒッチ部及び拡散器部 リア用スタンド部



■ 部品表

NO.	部 品 名	55 F	70 F	70 R
230	固定ヒッチ			1
231	当て板			1
232	スプリングピン φ4×15 SUS			2
233	キングピン φ16			2
234	Rピン φ16用			2
235	六角ボルト M14×35 (8T)			2
236	六角ナット M14 (3種)			2
237	六角ボルト M14×50			2
238	六角ナット M14			4
239	リアヒッチ 55、70、110 (UX)			1
240	六角ボルト M12×35			1
241	角中栓 □60			2
242	スタンドR			2
243	スタンドベース			2
244	左右シール (Rスタンド) TE-37-172-②			1
245	左右シール (Rスタンド) TE-37-172-①			1

■ 散布ロール（オプション）

型式 ロール	UX-55F (ロール数 1)	UX-70F/R (ロール数 2)
標準	4列×20mm (20～150 k g) 	2列×20mm (20～150 k g) 
大量	110mm (30～205 k g) 	110mm (60～410 k g) 
少量	4列×11mm (11～83 k g) 	2列×11mm (11～83 k g) 
微粒	4-深さ9.6mm (10～50 k g) 	2-深さ9.6mm (10～50 k g) 

- ※ 出荷時は標準ロールが装着されています。
- ※ 大量・少量・微粒ロールはオプションになります。
- ※ 列数×ロール溝幅 （例：4列×20mm）
- ※ 微粒散布ロールは微粒剤専用になります。（粉状は散布できません。）
- ※ 微粒散布ロールは専用アダプター付きです。
- ※ 散布量の表示は、10 a 当りで作業時間30分を基準にしています。
- ※ 電源取出し（バッテリー）用延長コードをオプションで用意しています。（P.9 参照）

■ 仕様諸元

UX-55F UX-70F
UX-70R

型 式		UX-55F	UX-70F	UX-70R
全幅 (mm)		695	965	965
奥行 (mm)		580	565	650
重 量		35kg	41kg	47kg
適応トラクタ		12PS以上	15PS以上	
ホッパー容量		55リットル	70リットル	
最大 散布幅 (mm)	粒状	1200	1700	1700
	砂状	900	1600	1400
散布対 象肥料	標準ロール	粒状化成・ヨウリン・ケイカル		
	大量ロール	有機ペレット等		
量 調 節		ダイヤル目盛設定		
散 布 方 法		ロール繰り出し散布		
動 力		DC12Vギヤードモーター		
電 源		トラクターバッテリー		
取 付 方 法		バンパー取付	バンパー取付	尾輪アーム取付
付 属 品		専用スタンド (キャスター付き)		

※ 散布量については本書「散布量目盛の決め方」の項を参照して下さい。

※ 仕様は改良の為、予告なく変更することがあります。